

令和7年度
鳥取県医師会事業報告

自：令和7年4月 1日

至：令和8年3月31日

公益社団法人 鳥取県医師会

目 次

1. 庶務・経理関係	1
2. 医学教育の向上に関する事項	25
3. 医学と関連科学との総合進歩に関する事項	26
4. 医師の生涯研修に関する事項	27
5. 医学、医療の国際交流に関する事項	29
6. 公衆衛生の指導啓発に関する事項	31
7. 地域医療の進展発展に関する事項	35
8. 地域保健の向上に関する事項	41
9. 保険医療の充実に関する事項	56
10. 医事法規の整備に関する事項	60
11. 医療施設の整備に関する事項	61
12. 医業経営の安定、会員の福祉向上による国民の健康 及び福祉の増進に関する事項	62
13. 医師会相互の連絡調整に関する事項	73
14. その他に関する事項	77

令和7年度鳥取県医師会事業報告

[R7. 4. 1~R8. 3. 31]

<敬称略>

1. 庶務・経理関係

1 会員数について

令和8年3月末日現在、本会会員数は1,402名（A1会員385名、A2会員20名、B会員997名）で、このうち、会費免除会員は189名である（令和8年5月1日受付分）。

さらに、これを地区別に示せば次のとおりである。

・東部556名、中部239名、西部548名、大学59名 計1,402名

2 代議員について

令和8年3月末日現在の代議員及び予備代議員は次のとおりで、任期は令和8年3月末日までである。

〔代議員〕

				◎ 議長	○ 副議長
東 部	松浦喜房	○石谷暢男	安陪隆明	乾 俊彦	宇都宮 靖
	大竹 実	尾崎隆之	尾崎 舞	加藤達生	小坂博基
	後藤大輔	高須宣行	高橋浩士	深澤 哲	藤田直樹
	松田裕之	皆木真一	森下嗣威	渡邊健志	
中 部	◎安梅正則	野田博司	宮崎 聡	岡田耕一郎	福羅匡普
	大谷英之	深田 悟	濱吉麻里		
西 部	根津 勝	藤瀬雅史	仲村広毅	安達敏明	市場和志
	越智 寛	金田周三	川谷俊夫	木下智裕	孝田雅彦
	小林ゆう	佐々木修治	瀧田寿彦	武本 祐	長田郁夫
	野坂美仁	廣田 裕	福井毅頭	細田明秀	
鳥 大	黒崎雅道	前垣義弘			

〔予備代議員〕

東 部	石井泰史	石河利一郎	上山高尚	大石正博	大谷英之
	岡田睦博	河上真巳	川口 馨	小濱美昭	齊藤博昭
	下田 優	杉本勇二	中安弘幸	西浦清一	橋本篤徳
	松下公紀	三木統夫	山本 尚	山脇美香	
中 部	山本敏雄	三原 聡	門脇義郎	山本 了	岡本 賢
	宇奈手一司	明島亮二	森脇良太		
西 部	井庭貴浩	大谷正史	岡空輝夫	小田直治	面谷博紀
	鎌澤俊二	小酒慶一	近藤 亮	佐古博恒	下山晶樹
	瀬口正史	永井琢己	野村哲志	長谷川真弓	船木 聡
	細田淑人	南崎 剛	山口研一	山根一和	
鳥 大	磯本 一	藤原義之			

3 役員について

令和7年度の役員は、次のとおりである。（*は常任理事）

◎ 任期：令和6年6月15日～令和8年6月20日

会 長	清水正人				
副 会 長	瀬川謙一	辻田哲朗			
理 事	* 岡田克夫	* 三上真顯	* 秋藤洋一	* 松田 隆	* 永島英樹
	* 池田光之	廣岡保明（～R7.6.14）	來間美帆	山崎大輔	
	山田七子	福嶋寛子	野口圭太郎	千酌浩樹（R7.6.14～）	
監 事	尾崎真人	服岡泰司			
裁定委員	林 裕史	吉田真人	明穂政裕（R7.6.14～）		
	中本健太郎	河本知秀	小竹 寛	都田裕之	
	石井敏雄	難波範行			
顧 問	入江宏一	長田昭夫	魚谷 純	渡辺 憲	
日医代議員	清水正人	瀬川謙一			
同予備代議員	辻田哲朗	安梅正則			

4 役員会務分担について

令和7年度の役員会務分担は、次のとおりである。

任期：令和6年6月15日～令和7年6月14日

会 務 項 目	主 担 当	副 担 当
総 務	瀬川	岡田・山崎
財 務	秋藤	池田
生涯教育、学術、専門医制度、医療倫理	廣岡	秋藤・永島・福嶋
医療保険	三上	瀬川・秋藤・野口
かかりつけ医、在宅医療、介護保険、高齢者福祉 障がい者福祉	三上	瀬川・野口
労災保険、自賠責保険	山崎	福嶋
健康対策協議会	岡田	秋藤・瀬川・池田
感染症	秋藤	松田・三上・來間・野口
医療安全、医療事故調査報告制度、診療情報開示 (個人情報保護)、職業倫理、自浄作用	秋藤	廣岡・永島・池田
医事紛争	瀬川	辻田・岡田
救急医療、防災対策	來間	廣岡・池田・野口
広報、会報編集	辻田	山崎・山田・福嶋
情報システム	辻田	岡田・松田・山崎・福嶋・野口
臨床検査	野口	來間
学校医、学校保健、少子化対策	松田	瀬川・來間
産業医、産業保健	福嶋	秋藤・來間
健康スポーツ医	池田	松田・永島
医療関係職種、共同利用施設	松田	福嶋
勤務医対策、医師会組織強化対策、医師の働き方改革	永島・山田	廣岡・秋藤・福嶋
男女共同参画	來間	秋藤・山田・福嶋
医療政策	福嶋	廣岡・永島
環境対策、外国人医療対策	山田	山崎
メンタルヘルス、自殺対策	松田	來間・福嶋
糖尿病対策	野口	瀬川・來間
禁煙指導対策	松田	三上
有床診療所対策	池田	野口
死体検案等関連対策、死因究明	廣岡	永島
地域医療構想、医師確保対策等	廣岡	秋藤・池田・野口・山崎

役員会務分担

任期：令和7年6月14日～令和8年6月20日

会務項目	主担当	副担当
総務	瀬川	岡田・山崎
財務	秋藤	池田
生涯教育、学術、専門医制度、医療倫理	千酌	秋藤・永島・福嶋
医療保険	三上	瀬川・秋藤・野口
かかりつけ医、在宅医療、介護保険、高齢者福祉障がい者福祉	三上	瀬川・野口
労災保険、自賠責保険	山崎	福嶋
健康対策協議会	岡田	秋藤・瀬川・池田
感染症	秋藤	松田・三上・來間・野口・千酌
医療安全、医療事故調査報告制度、診療情報開示(個人情報保護)、職業倫理、自浄作用	秋藤	永島・池田・千酌
医事紛争	瀬川	辻田・岡田
救急医療、防災対策	來間	池田・野口・千酌
広報、会報編集	辻田	山崎・山田・福嶋
情報システム	辻田	岡田・松田・山崎・福嶋・野口
臨床検査	野口	來間
学校医、学校保健、少子化対策	松田	瀬川・來間
産業医、産業保健	福嶋	秋藤・來間
健康スポーツ医	池田	松田・永島
医療関係職種、共同利用施設	松田	福嶋
勤務医対策、医師会組織強化対策、医師の働き方改革	永島・山田	秋藤・福嶋・千酌
男女共同参画	來間	秋藤・山田・福嶋
医療政策	福嶋	永島・千酌
環境対策、外国人医療対策	山田	山崎
メンタルヘルス、自殺対策	松田	來間・福嶋
糖尿病対策	野口	瀬川・來間
禁煙指導対策	松田	三上
有床診療所対策	池田	野口
死体検案等関連対策、死因究明	千酌	永島
地域医療構想、医師確保対策等	千酌	秋藤・池田・野口・山崎

5 各種委員会委員の委嘱について

◎ 任期：令和6年6月15日～令和8年6月20日

1. 医療保険委員会委員（担当：三上常任理事）

【委員長】※三上真顯 【副委員長】阿藤孝二郎

※瀬川謙一	※辻田哲朗	※岡田克夫	※秋藤洋一	※松田 隆
※永島英樹	※池田光之	※野口圭太郎		
杉本勇二	松木 勉	森本啓介	吉田泰之	小寺正人
岸本幸廣	高須宣行	尾崎真人	後藤大輔	明島亮二
福羅匡普（～R7. 10. 15）		門脇義郎（R7. 10. 16～）		仲村広毅
山崎大輔	谷口文紀			

※常任委員会委員

2. 医療安全対策委員会委員（診療情報提供推進委員会を含む）（担当：秋藤常任理事）

※清水正人	※瀬川謙一	※秋藤洋一	※永島英樹	※池田光之
廣岡保明（～R7. 6. 14）		千酌浩樹（R7. 6. 19～）		
西山あゆみ（県立中央病院看護局長）		川中修一（顧問弁護士）	小寺康博（県医療・保険課長）	
小寺 悟（鳥取赤十字病院薬剤部長）		松本美智子（県看護協会会長）		
石谷暢男	安梅正則	藤瀬雅史	武中 篤	

※常任委員会委員

3. 職業倫理・自浄作用活性化委員会委員（担当：秋藤常任理事）

【委員長】清水正人

瀬川謙一	辻田哲朗	秋藤洋一	廣岡保明（～R7. 6. 14）
千酌浩樹（R7. 6. 19～）	石谷暢男	安梅正則	藤瀬雅史

4. 医事紛争処理委員会委員（担当：瀬川副会長）

【委員長】清水正人 【副委員長】瀬川謙一

辻田哲朗	岡田克夫	秋藤洋一	松田 隆	村江正始
佐々木慎一	石谷暢男	高須宣行（～R7. 6. 28）		渡邊健志
上山高尚（R7. 7. 17～）		安梅正則	深田 悟	藤瀬雅史
長田郁夫	能美隆啓			

5. 生涯教育委員会委員（担当：廣岡理事（～R7. 6. 14） 千酌浩樹（R7. 6. 19～））

【委員長】廣岡保明（～R7. 6. 14） 千酌浩樹（R7. 6. 19～）

秋藤洋一	永島英樹	福嶋寛子		
加藤達生	齊藤博昭	花木啓一	山本 了	服岡泰司
近藤 亮	武中 篤			

6. 広報委員会委員（担当：辻田副会長）

【委員長】辻田哲朗

山田七子	福嶋寛子			
池田光之	高須宣行（～R7. 6. 28）	上山高尚（R7. 7. 17～）		
濱吉麻里	宇奈手一司	仲村広毅	山崎大輔	武中 篤

7. 会報編集委員会委員（担当：辻田副会長）

辻田哲朗	池田光之	山崎大輔	山田七子	福嶋寛子
武信順子	中安弘幸	山根弘次	懸樋英一	

8. 情報システム運営委員会委員（担当：辻田副会長）

【委員長】辻田哲朗 【副委員長】岡田克夫

松田 隆	山崎大輔	福嶋寛子	野口圭太郎
加藤達生	明島亮二	瀧田寿彦	黒崎雅道

9. 感染症危機管理対策委員会委員（担当：秋藤常任理事）

【委員長】秋藤洋一

三上真顯	松田 隆	來間美帆	野口圭太郎	千酌浩樹
石谷暢男	明島亮二	長田郁夫		

10. 臨床検査精度管理委員会委員（担当：野口理事）

【委員長】野口圭太郎

岡田克夫	來間美帆		
宇都宮靖	宮崎 聡	廣田 裕	河村浩二
仲田夢人（鳥取大学医学部附属病院検査部）		湯田範規（鳥取県臨床検査技師会長）	

11. 介護保険対策委員会委員（担当：三上常任理事）

【委員長】三上真顯

瀬川謙一	野口圭太郎	
橋本篤徳	宇奈手一司	花島律子

12. 鳥取医学雑誌編集委員会委員（担当：廣岡理事（～R7.6.14） 千酌浩樹（R7.6.19～））

【委員長】廣岡保明（～R7.6.14） 千酌浩樹（R7.6.19～）

【副委員長】大石正博 松田隆子

杉本勇二（～R7.6.14）		長谷川泰之（R7.6.19～）	下田 学
徳安祐輔	岡田睦博	山根弘次	齊藤博昭
懸樋英一	橋田祐一郎	岡田隆好	濱本哲郎
杉谷 篤	岡野 徹	遠藤宏治	岸本幸廣
吉川泰司	河口剛一郎	松尾諒一	

13. 定款・諸規程改正検討委員会委員（担当：瀬川副会長）

【委員長】瀬川謙一

辻田哲朗	岡田克夫	三上真顯	松田 隆	
尾崎真人	大竹 実	安梅正則	岡田耕一郎	安達敏明
岩田正明				

14. 母体保護法指定医師審査委員会委員（担当：瀬川副会長）

【委員長】村江正始

明島亮二	高橋弘幸	周防加奈	岩部富夫	鎌澤俊二
谷口文紀（鳥大医学部生殖機能医学分野教授）				

15. 母体保護法指定医師不服審査委員会委員（担当：瀬川副会長）

川中修一（顧問弁護士） 松本美智子（県看護協会会長）
石谷暢男 安梅正則 藤瀬雅史

16. 学校医・園医部会運営委員会委員（担当：松田常任理事）

【委員長】松田 隆 【副委員長】瀬川謙一
辻田哲朗 三上真顯 來間美帆
石谷暢男 大谷英之 岡田耕一郎 岡本 賢 長田郁夫
細田淑人

17. 健康スポーツ医委員会委員（担当：池田常任理事）

【委員長】池田光之 【副委員長】松田 隆 永島英樹
高須宣行（～R7. 6. 28） 上山高尚（R7. 7. 17～） 深田 悟
瀧田寿彦 榎田 誠

18. 産業医部会運営委員会委員（担当：福嶋理事）

【委員長】尾崎米厚 【副委員長】福嶋寛子
森田明美 岡田克夫 三上真顯 秋藤洋一 來間美帆
加藤達生 後藤大輔 門脇義郎 越智 寛 楠見公義

19. 勤務医委員会委員（担当：永島常任理事）

【委員長】永島英樹
【副委員長】廣岡保明（～R7. 6. 14） 千酌浩樹（R7. 6. 19～） 山田七子
秋藤洋一 福嶋寛子
〔地区推薦〕足立誠司（～R7. 6. 28） 大石正博（R7. 7. 17～） 尾崎 舞
花木啓一 深田 悟
原田賢一 近藤 亮 藤原義之
〔県医推薦〕宗村千潮（県立中央病院） 山代 豊（鳥取赤十字病院）
宮崎慎一（鳥取生協病院） 土居 充（鳥取医療センター）
尾崎隆之（岩美病院） 大谷恭一（智頭病院）
鈴木一則（県立厚生病院） 水田榮之助（山陰労災病院）
津田公子（済生会境港総合病院） 村田裕彦（西伯病院）

20. 労災保険委員会委員・自賠責保険委員会委員・鳥取県自動車保険医療指導委員会委員

（担当：山崎理事）

【委員長】山崎大輔
瀬川謙一 辻田哲朗 池田光之 來間美帆
大竹 実 福嶋寛子

21. 禁煙指導対策委員会委員（担当：松田常任理事）

【委員長】松田 隆
瀬川謙一 岡田克夫 三上真顯
安陪隆明 明島亮二 山田健作 今村武史

22. 鳥取県糖尿病対策推進会議委員(担当：野口理事)

【委員長】清水正人

【副委員長】野口圭太郎

瀬川謙一

來間美帆

村尾和良

大倉 毅

尾崎 舞

山本 了

越智 寛

谷口晋一 (日本糖尿病学会中国四国支部・鳥取大学医学部)

檜崎晃史 (鳥取県糖尿病協会) 角田智玲 (県健康政策課長)

美川千帆 (県市町村保健師協議会)

小濱裕幸 (県歯科医師会)

油谷章吉 (県薬剤師会)

松本理恵 (県看護協会)

磯部紀子 (県栄養士会)

23. 救急・災害対策委員会委員(担当：來間理事)

【委員長】來間美帆

瀬川謙一

辻田哲朗

廣岡保明 (～R7.6.14)

野口圭太郎

千酌浩樹 (R7.6.19～)

池田光之

宮崎 聡

仲村広毅

上田敬博

24. 男女共同参画推進委員会委員(担当：來間理事)

【委員長】秋藤洋一

山田七子

福嶋寛子

松田隆子

尾崎 舞

濱吉麻里

來間美帆

花島律子

大羽沢子 (鳥大医学部附属病院ワークライフバランス支援センター副センター長)

25. 医療倫理委員会委員(担当：廣岡理事(～R7.6.14) 千酌浩樹(R7.6.19～))

【委員長】清水正人

【副委員長】瀬川謙一

秋藤洋一

永島英樹

廣岡保明 (～R7.6.14)

千酌浩樹 (R7.6.19～)

尾崎 舞

岡田耕一郎

佐々木修治

杉谷 篤

松本美智子 (県看護協会長)

米田裕一 (県医療政策課長)

26. 学校検尿対策委員会委員(担当：松田常任理事)

【委員長】松田 隆

瀬川謙一

來間美帆

野口圭太郎

深澤 哲

宇都宮 靖

河場康郎

笠木正明

岡田晋一

岡空輝夫

山本雅丈 (県体育保健課長)

石谷暢男

岡本 賢

長田郁夫

6 顧問弁護士・顧問税理士・顧問社労士について

令和8年3月末日現在、次のとおりである。

顧問弁護士

川中修一 (米子市)

顧問税理士

岸本信一 (鳥取市)

顧問社労士

吉田佳寿美 (鳥取市)

7 厚生労働省、県、関係団体委員会委員の推薦について

令和7年度に本会が推薦した厚生労働省、県、関係団体委員会委員は、次のとおりである。
委員会の審議にあたっては、本会方針の反映に努めた（一部本会推薦以外も含む）。

〔厚生労働省：地域医療計画課〕

- 1 地域医療構想アドバイザー（至R10.8.31）
魚谷 純（～R7.8.31） 野坂美仁（R7.9.1～）

〔鳥取県総務部人権局〕

- 1 人権に関する相談窓口における専門相談員（至R9.3.31）
助川鶴平 兼子幸一 岩田正明

〔鳥取県福祉保健部感染症対策局感染症対策課〕

- 1 鳥取県感染症対策連携協議会
秋藤洋一

〔鳥取県福祉保健部健康医療局：医療政策課〕

- 1 鳥取県准看護師試験委員（至R8.7.18）
門脇義郎
- 2 鳥取県医療審議会委員（至R9.1.13）
清水正人 池田光之 尾崎 舞
- 3 鳥取県医療審議会医療法人部会委員（至R9.1.13）
池田光之
- 4 鳥取県地域医療対策協議会委員（至R10.3.22）
瀬川謙一
- 5 鳥取県精度管理専門委員（至R8.3.31）
小林 哲
- 6 鳥取県ドクターヘリ運航調整委員会委員
清水正人
- 7 鳥取県ドクターヘリ運航連絡会議
清水正人
- 8 鳥取県地域医療支援センター運営委員会委員（至R8.3.31）
清水正人
- 9 鳥取県災害医療コーディネーター（至R9.11.17）
清水正人 野口圭太郎 木内 誠 田村明子
- 10 鳥取県死因究明等推進協議会委員（至R10.3.23）
後藤大輔

〔鳥取県福祉保健部健康医療局：健康政策課〕

- 1 鳥取県感染症対策センター感染症発生動向調査検討会（至R10.3.31）
千酌浩樹（鳥取県感染症対策センター感染症専門監）
倉信裕樹 木下朋絵 河場康郎 北浦 剛 倉信奈緒美
瀬口正史（～R8.3.31）

- 2 鳥取県がん対策推進県民会議委員（至R8. 12. 17）
岡田克夫
- 3 鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議（至R11. 2. 19）
（鳥取県健康づくり文化創造推進会議及び心といのちを守る県民運動）委員
（鳥取県健康づくり文化創造推進会議・鳥取県8020運動推進協議会）委員
松田 隆

〔鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局：長寿社会課〕

- 1 第9期鳥取県介護保険事業支援計画及び老人福祉計画策定・推進委員会委員（至R8. 3. 31）
乾 俊彦
- 2 鳥取県喀痰吸引等研修実施委員会委員（R9. 6. 23）
麻木俊宏

〔鳥取県福祉保健部健康医療局：医療・保険課〕

- 1 鳥取県医療安全推進協議会委員（至R8. 10. 31）
秋藤洋一
- 2 鳥取県ワクチン流通等対策委員会委員
笠木正明
- 3 鳥取県後期高齢者医療審査会委員（至R11. 4. 30）
高須宣行
- 4 社会保険医療担当者指導員（至R8. 5. 31）

内 科	坂本雅彦	杉本勇二	松木 勉	中安弘幸
	陶山和子	神谷 剛	田中孝幸	荻野和秀
外 科	森本啓介			
整形外科	阿藤孝二郎			
小 児 科	深澤雅子	中井正二		
耳鼻咽喉科	竹内裕美			
精 神 科	田中 潔			
眼 科	伊藤久太郎			
皮 膚 科	葉狩良孝	足立孝司		
泌尿器科	井上明道	早田俊司		
脳 外 科	紙谷秀規			
産婦人科	村江正始	皆川幸久		
- 5 鳥取県国民健康保険審査会委員（至R8. 9. 22）
森 英俊
- 6 鳥取県薬物乱用対策推進本部会議委員（至R10. 1. 31）
安陪隆明
- 7 鳥取県医療費適正化計画策定評価委員会委員（至R9. 6. 30）
來間美帆
- 8 鳥取県国民健康保険運営協議会委員（至R9. 12. 11）
皆川幸久
- 9 第62回献血運動推進全国大会実行委員会副会長（至R8. 12）
清水正人

- 10 第62回献血運動推進全国大会実行委員会幹事会幹事（至R8.12）
岡本匡史

〔鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局：福祉保健課〕

- 1 鳥取県社会福祉審議会委員（至R9.12.16）
辻田哲朗 助川鶴平
- 2 鳥取県社会福祉審議会臨時委員（至R9.12.16）
大槻亮二 藏増亜希子 清水 哲 元田欽也 太田匡彦
前田啓之 川口 馨 大谷英之（児童福祉専門分科会）
- 3 鳥取県社会福祉審議会心身障がい福祉専門分科会指定医師等審査部会委員（至R9.12.16）
辻田哲朗 大槻亮二 藏増亜希子 清水 哲 元田欽也
太田匡彦 前田啓之 川口 馨

〔鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局：孤独・孤立対策課〕

- 1 生活保護に係る嘱託医（至R8.3.31）
吉田泰之 山田武史 秋藤洋一（R7.9.1～）

〔鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局：障がい福祉課〕

- 1 鳥取県障害者介護給付費等不服審査会委員（至R9.5）
高須宣行 竹内亜理子
- 2 鳥取県精神保健福祉医療協議会委員（鳥取県アルコール健康障害・依存症対策会議）（至R9.7.8）
小林ゆう

〔鳥取県子ども家庭部：子育て王国課〕

- 1 鳥取県青少年問題協議会委員（至R9.10.27）
前岡幸憲
- 2 子育て王国とっとり会議委員（至R8.10.27）
鎌澤俊二

〔鳥取県子ども家庭部：家庭支援課〕

- 1 鳥取県小児慢性特定疾患審査会委員
岡田晋一
- 2 精神科領域の治療等を緊急に要する施設入所児童の対応に係る協力医療機関
竹内亜理子 兼子幸一 岩田正明
- 3 鳥取県困難な問題を抱える女性への支援に関する基本計画（仮称）策定に係る検討会委員
高橋弘幸
- 4 「予防のための子どもの死亡検証体制整備モデル事業（CDR）」における推進会議及び
多機関検証ワーキンググループ委員
橋田祐一郎

〔鳥取県地域社会振興部スポーツ振興局：スポーツ課〕

- 1 東京2025世界陸上ジャマイカ代表選手団事前キャンプ実行委員会委員
清水正人

〔鳥取県地域社会振興部：関西ワールドマスターズゲーム課〕

- 1 ワールドマスターズゲームズ2021関西鳥取県実行委員会委員
清水正人

〔鳥取県危機管理局：危機対策・情報課〕

- 1 鳥取県防災会議委員（至R8. 7. 23）
高岸真紀
- 2 鳥取県国民保護協議会委員（至R9. 12. 18）
森下春奈

〔鳥取県危機管理局：消防防災課〕

- 1 鳥取県救急搬送高度化推進協議会委員（至R9. 4. 30）
山崎大輔
- 2 鳥取県応急手当普及推進会議委員
清水正人

〔鳥取県総務部：福利厚生課〕

- 1 鳥取県公務災害補償等認定委員会委員（至R11. 2. 7）
松浦喜房
- 2 鳥取県公務災害補償等審査会委員（至R11. 2. 7）
大竹 実
- 3 地方公務員災害補償基金鳥取県支部審査会委員（至R11. 2. 18）
大竹 実

〔鳥取県病院局：総務課〕

- 1 鳥取県立病院運営評議会委員（至R8. 12. 14）
清水正人（会長）

〔鳥取県生活環境部：くらしの安心局くらしの安心推進課〕

- 1 鳥取県性暴力被害者支援協議会
会長：村江正始 委員：片桐千恵子 中曾庸博 田治米佳世

〔鳥取県令和新時代創造本部：女性活躍推進課〕

- 1 鳥取県男女共同参画審議会委員（至R8. 5. 14）
片桐千恵子

〔鳥取県学校保健会〕

- 1 学校保健会長（至R8. 6 理事会）
清水正人
- 2 学校安全表彰審査会委員（至R8. 6 理事会）
清水正人

〔鳥取県教育委員会：体育保健課〕

- 1 鳥取県学校結核対策委員会委員
笠木正明
- 2 鳥取県がん教育推進協議会委員（至R9. 3. 31）
尾崎真人
- 3 令和7年度全国高校学校総合体育大会鳥取県実行委員会
宿泊衛生・輸送警備専門委員会
來間美帆
- 4 中国地区学校保健研究協議大会実行委員会委員
松田 隆

〔鳥取県教育委員会：教育総務課〕

- 1 鳥取県教育委員会職員健康管理審査会（神経・精神障がい健康審査会）委員（至R9. 3. 31）
幡 雄一郎

〔鳥取県教育委員会：いじめ・不登校総合対策センター〕

- 1 鳥取県いじめ・不登校対策連絡協議会委員（至R8. 3. 31）
長石純一

〔鳥取県教育委員会：社会教育課〕

- 1 鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会委員（至R9. 7. 31）
松田 隆
- 2 鳥取県教員職員免許状再授与審査会委員（至R9. 9. 30）
高田耕吉

〔鳥取労働局〕

- 1 労災保険診療費審査委員：医師会推薦（至R9. 3. 31）
中島匡敏 山本哲章 山縣 昇
労災保険診療費審査委員：労働局推薦（至R9. 3. 31）
南崎 剛 石井博之 森下嗣威
- 2 労災協力医：労働局・医師会推薦（至R11. 3. 31）
坂本雅彦 下田 学 吉田泰之 澄川 崇 竹内裕美 倉信耕爾
蔵増亜希子 那須吉郎 前田和久 岩田正明 岡田浩子
- 3 地方労災医員：労働局推薦（至R9. 3. 31）
高橋敏明 阿藤孝二郎 岡野 徹 田邊路晴
助川鶴平（至R10. 3. 31） 塩崎かおる（至R10. 3. 31） 土井 清（至R10. 3. 31）
- 4 健康管理医（メンタルヘルス担当）
高田耕吉
- 5 治療と仕事の両立支援のための「鳥取県地域両立支援推進チーム」委員
秋藤洋一
- 6 職業病相談員（至R9. 3. 31）
岡田浩子

〔厚生労働省中国四国厚生局〕

- 1 中国地方社会保険医療協議会委員（至R9. 9. 30）

清水正人

〔中国四国厚生局鳥取事務所〕

- 1 保険指導医（至R9. 3. 31）

内 科	坂本雅彦	杉本勇二	松木 勉	中安弘幸	陶山和子
	神谷 剛	田中孝幸	荻野和秀		
外 科	森本啓介				
整形外科	阿藤孝二郎				
小 児 科	深澤雅子	中井正二			
耳鼻咽喉科	竹内裕美				
精 神 科	田中 潔				
眼 科	伊藤久太郎				
皮 膚 科	葉狩良孝	足立孝司			
泌尿器科	井上明道	早田俊司			
脳 外 科	紙谷秀規				
産婦人科	村江正始	皆川幸久			

〔鳥取大学〕

- 1 国立大学法人鳥取大学学長選考・監察会議委員（至R9. 3. 31）

渡辺 憲

- 2 国立大学法人鳥取大学経営協議会委員（至R9. 3. 31）

渡辺 憲

〔鳥取大学医学部〕

- 1 鳥取大学医学部地域医療学講座あり方懇話会委員（至R8. 3. 31）

清水正人

〔鳥取大学医学部附属病院〕

- 1 鳥取県がん診療連携協議会委員（至R10. 3. 31）

清水正人 辻田哲朗

- 2 子どもの心の診療ネットワーク会議委員（任期：事業完了時）

岡田隆好

〔鳥取県警察本部：監察課〕

- 1 鳥取県留置施設視察委員会委員（至R9. 5. 31）

中井正二

〔鳥取県警察本部：生活安全部少年・人身安全対策課〕

- 1 児童ポルノ画像鑑定に係る嘱託医師（至R9. 3. 31）

皆川幸久 長石純一 花木啓一 谷口文紀

〔社会保険診療報酬支払基金鳥取支部〕

- 1 社会保険診療報酬支払基金鳥取審査委員会事務局審査運営協議会委員（至R8.9.30）
清水正人

〔鳥取県町村総合事務組合〕

- 1 鳥取県町村非常勤職員公務災害補償等審査会委員（至R11.3.31）
瀬川謙一

〔鳥取県看護協会〕

- 1 「鳥取県助産師出向支援事業」協議会委員（至R8.3.31）
小林 哲 千酌 潤
- 2 鳥取県ナースセンター事業運営協議会委員（至R8.3.31）
岡田克夫
- 3 鳥取県訪問看護支援センター運営協議会委員（至R8.12.31）
瀬川謙一

〔鳥取県公衆衛生協会〕

- 1 鳥取県公衆衛生協会理事（至R10.5.23）
清水正人 辻田哲朗 秋藤洋一

〔鳥取県社会福祉協議会〕

- 1 福祉サービス運営適正化委員会委員（至8.8.31）
鱸 俊朗
- 2 貸付審査等運営委員会委員（至R8.3.31）
田中敬子 3 日常生活自立支援事業契約締結審査会委員（至R9.10.31）
三島香津子

〔鳥取県保健事業団〕

- 1 鳥取県保健事業団副理事長（至R9.5 定時評議員会）
岡田克夫
- 2 鳥取県保健事業団評議員（至R9.5 定時評議員会）
瀬川謙一

〔鳥取県国民健康保険団体連合会〕

- 1 介護給付費審査委員会委員（至R8.4.30）
吉田良平 米谷 康
- 2 介護サービス苦情処理委員会委員（至R8.4.30）
橋本篤徳
- 3 はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費の支給申請書審査委員会委員
（至R9.3.31） 高須宣行

〔鳥取県国際交流財団〕

- 1 公益財団法人鳥取県国際交流財団評議員（至R8.5月定例評議員会）
岡田克夫

〔鳥取県暴力追放センター〕

- 1 公益財団法人鳥取県暴力追放センター顧問
清水正人

〔鳥取県薬剤師会〕

- 1 鳥取県薬剤師会薬事情報センター運営委員会委員（至R8.3.31）
辻田哲朗

〔鳥取県精神保健福祉協会〕

- 1 鳥取県精神保健福祉協会理事（至R9.4総会）
清水正人

〔特定非営利活動法人山陰医療人材育成支援機構〕

- 1 特定非営利活動法人山陰医療人材育成支援機構理事（至R9.6.30）
清水正人

〔鳥取産業保健総合支援センター〕

- 1 鳥取産業保健総合支援センター所長
黒沢洋一
- 2 鳥取産業保健総合支援センター運営協議会委員（至R8.3.31）
清水 正人 秋藤洋一 岡田浩子

〔鳥取県医療勤務環境改善支援センター〕

- 1 鳥取県医療勤務環境改善支援センター運営協議会会長
清水正人
- 2 鳥取県医療勤務環境改善支援センター委員
秋藤洋一 萩野 浩

〔鳥取県後期高齢者医療広域連合〕

- 1 鳥取県後期高齢者医療懇話会委員（至R9.3.31）
野口圭太郎

〔関西広域連合協議会〕

- 1 関西広域連合協議会委員（至R9.8.31）
清水正人

〔中国四国医師会連合〕

- 1 勤務医委員会
永島英樹 千酌浩樹

〔日本医師会〕

- 1 勤務医委員会委員（至R8.6 開催予定の定例代議員会）
渡辺 憲
- 2 医療機関勤務環境評価センター医療サーベイヤー（至R10.10.31）
秋藤洋一 杉谷 篤
- 3 病院委員会委員（至R8.6 開催予定の定例代議員会）
清水正人
- 4 医師国保組合に関する検討委員会委員（プロジェクト）（至R8.6 開催予定の定例代議員会）
清水正人
- 5 医療情報システム協議会運営委員会（至R8.6 開催予定の定例代議員会）
福島寛子
- 6 未来医師会ビジョン委員会（至R8.6 開催予定の定例代議員会）
野口圭太郎
- 7 医療安全対策委員会（至R8.6 開催予定の定例代議員会）
秋藤洋一

〔日本医学会〕

- 1 第32回日本医学会総会登録推進委員
清水正人

〔鳥取市：福祉部障がい福祉課〕

- 1 鳥取市社会福祉審議会
心身障がい福祉専門分科会指定医師等審査部会委員（臨時委員）（至R9.12.16）
大槻亮二 藏増亜希子 清水 哲 元田欽也 太田匡彦
前田啓之 川口 馨

〔その他〕

- 1 鳥取県医療機関企業年金基金役員（至R10.4.10）
理事長 瀬川謙一
常務理事 野藤哲美
理事 乾 俊彦 廣江 智 糸原博史 三島一晃
代議員 荒川圭三 上田昭典 河本道寛 赤澤護朗
三宅 学 森本健一郎 西田 功 小椋一樹
監事 福田裕充 安養寺信久
- 2 山陰救急医学会幹事・評議員
清水正人
- 3 日本救急医学会中国四国地方会評議員（至R8.5 学術集会終了日）
清水正人
- 4 全国有床診療所協議会代議員（至R10.3.31）
米川正夫
- 5 全国有床診療所協議会中国四国ブロック会理事（至R8.6.30）
池田光之
- 6 鳥取県柔道整復師会顧問
清水正人

- 7 鳥取県鍼灸師会顧問
清水正人
- 8 鳥取県鍼灸マッサージ師会顧問
清水正人
- 9 鳥取県若年認知症ネットワーク会議委員
田治米佳世
- 10 鳥取県再犯抑止更生協会正会員
清水正人
- 11 公益社団法人鳥取県人権文化センター理事（至R10.5 定時総会）
岡本匡史
- 12 鳥取県消費者見守りネットワーク協議会委員
岡本匡史

8 各種会合について

令和8年3月末日までに開催された代議員会並びに各種会合等は、次のとおりである。

1) 代議員会（1回）

(1) 第211回定例代議員会

令和7年6月14日、県医師会館において開催した。議事として、「令和6年度事業報告」と「令和7年度事業計画及び収支予算」について説明があった後、3議案、(1)令和6年度決算の承認、(2)令和8年度会費及び負担金の賦課徴収、(3)理事及び裁定委員の補欠選任について審議が行われ、いずれも原案どおり承認・可決・選任された。詳細は、会報第841号に掲載した。

2) 常任理事会及び理事会

令和8年3月までに常任理事会10回、理事会11回を開催し、日常会務の処理及び当面の重要問題の執行について協議を行った。なお、緊急を要する問題は必要により担当理事打合会を開催し、会務運営に万全を期した。また、理事会等の会議記録は、県医師会報及びホームページへの掲載を以て、会員へ概要の周知を図った。

3) 諸会議等の開催並びに出席状況

- 4月 3日 公開健康講座
 〃 産業医部会運営委員会
 5日 中国四国医師会連合常任委員会（会長会議）
 10日 鳥取産業保健総合支援センター全体会議
 〃 第1回理事会
 〃 鳥取県保健・医療・福祉関係者観桜会（歯科医師会担当）
 13日 日本医師会学校保健講習会
 17日 健康スポーツ医委員会
 〃 都道府県医師会広報担当理事連絡協議会
 24日 保険医療機関指導計画打合会
 〃 生活保護法による指定医療機関個別指導県・鳥取市合同打合会
 〃 第1回常任理事会
- 5月 1日 公開健康講座
 8日 鳥取県保健事業団理事会
 10日 中国四国医師会連合 医療保険分科会
 〃 日本医学検査学会（11日迄）
 15日 第2回常任理事会
 16日 医師会立看護師等養成所会議（都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会）
 17日 日本医師会第19回男女共同参画フォーラム
 〃 鳥取大学長中島廣光先生退任記念祝賀会
 20日 第1回都道府県医師会会長会議
 23日 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会
 27日 鳥取県公衆衛生協会理事会
 29日 鳥取県保健事業団評議員会
 〃 監事会
 〃 第2回理事会

- 6月 5日 公開健康講座
 14日 定例代議員会
 // 会員総会
 19日 鳥取県学校保健会理事会
 // 鳥取県健康対策協議会監事会
 // 第3回理事会
 22日 中国四国医師会連合連絡会
 // 日本医師会定例代議員会
 // 鳥取県看護協会通常総会
 26日 ようこそ、鳥取県へ～初期臨床研修医歓迎の夕べ～
 28日 鳥取県健康対策協議会若年者心臓検診対策専門委員会
- 7月 3日 全国医師会産業医部会連絡協議会
 // 公開健康講座
 3日 第3回常任理事会
 6日 第1回産業医研修会
 8日 鳥取県公衆衛生学会
 10日 鳥取県健康対策協議会理事会
 16日 鳥取県健康対策協議会拡大新生児マスキリーニング検査小委員会
 17日 鳥取県医療勤務環境改善支援センター運営協議会
 // 第4回理事会
 // 会報編集委員会
 20日 鳥取県医学会（専門医共通講習・鳥取県健康対策協議会肝臓がん検診従事者講習会
 及び症例研究会・日医認定スポーツ医学再研修会）
 24日 鳥取県医療審議会医療法人部会
 // 男女共同参画推進委員会
 31日 鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会
- 8月 3日 野坂美仁先生叙勲受章祝賀会
 5日 鳥取県立病院運営評議会
 7日 公開健康講座
 // 第4回常任理事会
 8日 鳥取県後期高齢者医療懇話会
 21日 中国地区学校保健研究協議大会
 // 第1回鳥取県循環器病対策推進に関する小委員会（心疾患・脳血管疾患関連合同）
 24日 中国地区学校保健・学校医大会（山口県医師会担当）
 28日 医師偏在是正に向けた全国広域マッチング事業説明会
 29日 鳥取県地域両立支援推進チーム会議
 // かかりつけ医機能登録制度に関する説明会
 30日 全国医師会共同利用施設総会（31日迄）
- 9月 4日 公開健康講座
 // 鳥取県健康対策協議会胃がん対策専門委員会
 // 第5回常任理事会
 5日 鳥取県医療勤務環境改善支援センター第1回推進委員会
 6日 鳥取県健康対策協議会乳がん検診従事者講習会及び症例研究会
 7日 鳥取県糖尿病療養指導士試験受験資格取得のための講習会A
 // 第2回産業医研修会
 9日 鳥取県がん征圧大会
 11日 鳥取県がん対策推進県民会議

- 9月11日 鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会
 17日 鳥取県救急搬送高度化推進協議会
 18日 第1回かかりつけ医と精神科医との連携会議
 // 第5回理事会
 21日 第1回日本医師会かかりつけ医応用研修会
 25日 鳥取県糖尿病対策推進会議・鳥取県糖尿病療養指導士
 認定機構統括委員会(合同会議)
 26日 中国地方社会保険医療協議会総会
 27日 中国四国医師会連合常任委員会
 // 中国四国医師会連合分科会
 // 中国四国医師会連合特別講演Ⅰ
 28日 中国四国医師会連合総会・特別講演Ⅱ
- 10月2日 SNSの活用に関する勉強会(都道府県医師会広報担当理事連絡協議会)
 // 学校医・園医部会運営委員会
 // 第6回常任理事会
 4日 日本医師会臨時代議員会(役員補欠選挙)
 8日 都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会
 9日 日本スポーツ振興センター災害共済給付事業運営協議会
 // 鳥取産業保健総合支援センター運営協議会
 // 鳥取県産業保健協議会
 16日 公開健康講座
 // 第6回理事会
 // 会報編集委員会
 // 鳥取県女性医師の会
 19日 糖尿病療養指導士試験受験資格取得のための講習会B
 21日 第2回都道府県医師会長会議
 23日 産業保健活動推進全国会議
 // 鳥取県地域医療支援センター運営委員会
 // 鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議(鳥取県8020運動推進協議会)
 // 鳥取県教育委員会との連絡協議会
 26日 母体保護法指定医師研修会(専門医共通講習)
 28日 鳥取県産業安全衛生大会
- 11月 1日 日本医師会設立78周年記念式典並びに医学大会
 3日 女性医師支援・ドクターバンク連携中国四国ブロック会議
 // 中国四国医師会連合医事紛争研究会
 5日 勤務環境改善に向けた第11回トップマネジメント研修会
 6日 鳥取県医療法人部会
 // 公開健康講座
 // 献血全国大会実行委員会設立総会及び実行委員会
 // 第7回常任理事会
 8日 全国勤務医部会連絡協議会
 9日 全国勤務医交流会
 // 第3回産業医研修会
 11日 鳥取県保健事業団臨時理事会
 13日 鳥取県社会福祉審議会
 16日 糖尿病療養指導士試験受験資格取得のための講習会C
 20日 国民医療を守るための総決起大会
 // 第7回理事会
 22日 全国学校保健・学校医大会

- 11月 27日 医療保険委員会
 28日 都道府県医師会自賠責保険担当理事連絡協議会
 // 鳥取県医療安全推進協議会
 29日 鳥取県西部かかりつけ医心の健康対応力向上研修会
- 12月 1日 鳥取県がん診療連携協議会
 // 都道府県医師会予防接種担当理事連絡協議会
 3日 鳥取県医療勤務環境改善支援センター労務管理セミナー
 4日 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会
 // 公開健康講座
 // 第8回常任理事会
 6日 日本医師会家族計画・母体保護法指導者講習会
 7日 鳥取県臨床検査精度管理調査報告会
 12日 鳥取県医療勤務環境改善支援センター第2回推進委員会
 16日 鳥取県地域医療対策協議会
 18日 第8回理事会
 20日 全国医師会事務局連絡会
 21日 中国四国医師会連合常任委員会（会長会議）
 24日 鳥取県健康対策協議会母子保健対策小委員会
 25日 鳥取県医療審議会
- 1月 8日 公開健康講座
 // 第9回理事会
 // 鳥取県医療懇話会
 11日 日本医師会JMAT研修基本編
 15日 鳥取県健康対策協議会地域医療研修及び健康情報対策専門委員会
 16日 心の医療フォーラム in 倉吉
 17日 心の医療フォーラム in 鳥取
 // 鳥取県歯科医師会新年祝賀会
 20日 第3回都道府県医師会会長会議
 22日 鳥取県医療審議会医療法人部会
 // 鳥取県健康づくり文化創造推進会議
 // 鳥取県健康対策協議会公衆衛生活動対策専門委員会
 25日 全国有床診療所協議会中国四国ブロック会役員会
 // 全国有床診療所協議会中国四国ブロック会総会・
 // 中国四国医師会連合有床診療所研修会
 // 学校医・園医研修会及び鳥取県学校保健会研修会
 27日 日本医師会「かかりつけ医機能報告制度にかかわる研修」修了申請・承認作業の
 ためのMAMIS操作説明会
 29日 日本医師会ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」
 // 臨床検査精度管理委員会
 // 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構研修委員会
 30日 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会
 31日 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会理事会・評議員会
- 2月 1日 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会（鳥取県健康対策協議会心臓検診従事者講習会）
 5日 鳥取県心といのちを守る県民運動会議
 // 鳥取県がん教育推進協議会
 // 鳥取県社会福祉審議会
 // 公開健康講座
 // 禁煙指導対策委員会

- 2月 5日 第9回常任理事会
6日 中国四国医師会連合事務局長会議
7日 鳥取県健康対策協議会乳がん対策専門委員会
8日 日本医師会母子保健講習会
9日 鳥取県医療費適正化計画策定評価委員会
12日 鳥取県健康対策協議会母子保健対策専門委員会
〃 鳥取県健康対策協議会胃がん対策専門委員会
15日 日本医師会JMAT研修統括編
17日 鳥取県アレルギー疾患医療連絡協議会
19日 鳥取県健康対策協議会生活習慣病対策専門委員会
〃 鳥取県健康対策協議会大腸がん対策専門委員会
〃 第10回理事会
〃 医学会の在り方検討委員会
20日 都道府県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会
〃 鳥取県医療勤務環境改善支援センター第3回推進委員会
21日 日医「警察活動協力医会」連絡協議会・学術大会
〃 鳥取県健康対策協議会肺がん対策専門委員会
〃 鳥取県健康対策協議会肺がん検診従事者講習会及び症例研究会
22日 中国四国医師会連合常任委員会（会長会議）
24日 鳥取県健康対策協議会鳥取県循環器病対策推進に関する小委員会（心臓・脳）
26日 鳥取県ナースセンター事業運営協議会
〃 中国地区学校保健研究協議大会実行委員会設立総会及び実行委員会
27日 都道府県医師会事務局長連絡会
- 3月 1日 鳥取看護高等専修学校卒業式・閉校式
〃 医療事故調査制度「支援団体統括者セミナー」
〃 鳥取県糖尿病療養指導士認定試験
〃 日本医師会在宅医療シンポジウム
3日 鳥取県医療勤務環境改善支援センター第2回運営協議会
5日 公開健康講座
〃 鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会
〃 第10回常任理事会
〃 鳥取県看護協会役員との連絡協議会
7日 日本医師会療情報システム協議会（8日迄）
鳥取県健康対策協議会子宮がん対策専門委員会・
8日 子宮がん検診従事者講習会及び症例検討会
12日 日本医師会かかりつけ医機能報告制度説明会
〃 鳥取県訪問看護支援センター事業運営協議会
〃 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構認定委員会
〃 鳥取県糖尿病対策推進会議・鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員会（合同会議）
〃 かかりつけ医と精神科医との連携会議
〃 鳥取大学医学部地域医療学講座あり方懇話会
14日 鳥取県健康対策協議会胃がん・大腸がん検診従事者講習会及び症例研究会
16日 鳥取県感染症対策連携協議会
〃 都道府県医師会会員情報担当理事連絡協議会
17日 勤務環境改善に向けた第12回トップマネジメント研修会
〃 鳥取医学雑誌編集委員会
18日 学校検尿対策委員会
19日 鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会
〃 第11回理事会
〃 広報・会報編集合同委員会

- 3月24日 献血運動推進全国大会第2回実行委員会
- 〃 鳥取県地域医療対策協議会
- 26日 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会
- 〃 鳥取県医療審議会
- 29日 中国四国医師会連合連絡会
- 〃 日本医師会臨時代議員会

9 経理関係

1) 令和6年度歳入・歳出決算について

令和6年度決算並びに財産目録等について、令和7年5月29日、県医師会館において尾崎・服岡両監事による厳正な監査が行われ、いずれも適正妥当であったことが認められた。次いで、令和7年6月14日開催の第211回定例代議員会において承認された。

2) 令和7年度会費減免について

令和7年度会費減免は、令和6年度第12回理事会、令和7年度第6、7回理事会（追加分）、において申請どおり承認された。減免申請の内訳は、次のとおりである。

会費免除会員…176名（高齢86名、傷病3名、研修医30名、その他特別の事由57名）

3) 令和8年度歳入・歳出予算について

令和8年度予算は、令和8年3月19日開催の第11回理事会において原案どおり承認された。令和8年4月1日から施行している。

また、本会特別会計については、下記の如く認められており、各予算はそれぞれの事業推進の費途に充てられている。

- 1 鳥取県医師会会館修繕積立金会計
- 2 生命保険取扱特別会計
- 3 鳥取県医療勤務環境改善支援センター事業会計

2. 医学教育の向上に関する事項

1 医学会

1) 鳥取県医学会（学会長：県立中央病院 千酌浩樹院長）

令和7年7月20日、県医師会館において本会主催、県立中央病院・東部医師会との共催により開催した。一般演題15題、専門医共通講習「臨床倫理と医療メディエーション」（講師：鳥取県看護協会教育部次長 松岡真弓氏）、ランチョンセミナー（健対協肝臓がん検診従事者講習会及び症例研究会）「もしかして肝臓がんを見逃していませんか」（講師：おおやま内科クリニック院長 大山賢治先生）、日医認定スポーツ医学再研修会「小児スポーツを巡るハラスメント～褒めて伸ばす魔法の言葉～」（講師：鳥大医学部附属病院小児科講師 美野陽一先生）を行った。出席者は117名。詳細は、会報第842号に掲載した。

2) 「鳥取医学賞」「鳥取医学雑誌新人優秀論文賞」の授与

鳥取医学雑誌に投稿のあった論文の中から、鳥取医学雑誌編集委員会委員により優秀な論文を選定し、「第34回鳥取医学賞」に米子保健所 藤井秀樹先生が鳥取医学雑誌第52巻1・2号に投稿された研究論文「鳥取県西部地区における新型コロナウイルス感染症対応の3年～感染状況と医療提供体制を中心に～」を、「第12回鳥取医学雑誌新人優秀論文賞」に山陰労災病院内科 利川太昌先生が鳥取医学雑誌第52巻1・2号に投稿された研究論文「抗プロラクチン療法にて良好な転帰をたどった周産期心筋症の1例」をそれぞれ授与した。受賞された2名の先生には、令和7年6月14日、県医師会館において開催した「会員総会」の席上、講演していただいた。

3) 医学会の在り方検討委員会

令和8年2月19日、県医師会館においてハイブリッドで開催した。議事として、(1)令和7年度鳥取県医学会開催報告、(2)令和7年度鳥取県医学会アンケート集計結果、(3)令和7年度鳥取県医学会の振り返り、(4)令和8年度鳥取県医学会の開催計画などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第849号に掲載した。

4) 日本医師会ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」

令和8年1月29日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。講演2題、(1)善きサマリア人法について－医事法関係検討委員会の取り組み（森本島根県医師会長／日医医事法関係検討委員会委員長）、(2)善きサマリア人法について－弁護士立場から（児玉新星総合法律事務所・弁護士）の後、ケーススタディとして2つの事例について参加者がグループに分かれて議論を行った。

3. 医学と関連科学との総合進歩に関する事項

1 医療安全対策

1) 医療事故調査制度に係る「管理者・実務者セミナー」

令和7年12月7日、日医会館において開催された。会場での受講を申込みした場合は、e-learningによる受講も可とした。県内全病院に周知した。

2) 日本医師会医療事故調査制度に係る「支援団体統括者セミナー」

令和8年3月1日、日医会館からのWeb配信を受け、県医師会館において山田理事、宗村県立中央病院副院長、小林鳥取赤十字病院医療安全推進室看護師長、岡本事務局長が出席した。午前中は、日医の取組み等並びに支援団体（栃木県、宮崎県、愛知県、神奈川県）の取組事例報告があった。午後からは、4つの討議テーマ、(1)判断への支援、(2)初期対応への支援、(3)疑問点の抽出と整理、(4)報告書作成への支援について討議ポイントの説明があった後、神奈川県医師会とのグループ討議（テーマ：相談を受けた時にどうかわるか）、まとめ・発表が行われた。

3) 都道府県医師会医療事故調査制度担当理事連絡協議会

令和8年2月20日、Webで開催され、岡本事務局長が出席した。議事として、(1)厚生労働科学研究「医療事故調査制度における医療事故調査等支援団体による支援の機能的運用および質向上に向けた研究」報告書（藤原日医常任理事）、(2)厚生労働省「医療事故調査制度等の医療安全に係る検討会」報告書及び同報告書を踏まえた今後の対応（門野厚労省医療安全推進・医務指導室室長補佐）、(3)日本医療安全調査機構「医療安全の更なる向上を目指す検討会」報告書（田原日本医療安全調査機構専務理事）、(4)令和7年度支援団体統括者セミナー（藤原日医常任理事）について報告があった後、質疑応答が行われた。

4) 鳥取県医療安全推進協議会

令和7年11月28日、県庁において開催され、秋藤常任理事が出席した。議事として、(1)鳥取県内の医療安全対策、(2)医療相談窓口の対応状況について報告があった後、相談受付事例について協議、意見交換が行われた。

2 鳥取医学雑誌の発行

令和7年に発行した医学雑誌は、第53巻1・2号（合併号）、3・4号（合併号）で、収録論文数は総数14編（内訳：興味ある症例1編、総説2編、原著3編、症例報告6編、記録2編）であった。

1) 鳥取医学雑誌編集委員会

令和8年3月17日、Webで開催した。議事として、(1)鳥取医学雑誌発行状況、(2)投稿状況について報告があった後、(1)鳥取医学雑誌53巻掲載内訳、(2)「第35回鳥取医学賞」「第13回鳥取医学雑誌新人優秀論文賞」候補論文の照会、(3)論文投稿促進について協議を行った。詳細は、会報第850号に掲載した。

4. 医師の生涯研修に関する事項

1 日本医師会生涯教育制度の推進

昭和62年度より開始され、平成22年度に改正された日本医師会生涯教育制度について、下記のとおり参加した。

1) 令和6年度申告状況（日本医師会全国医師会研修管理システムを利用）

- ・単位取得者率：全県 61.3%（東部 58.7%、中部 69.4%、西部 61.6%、鳥大 21.4%）
（参考：令和5年度単位取得者率 68.3%）

令和4年度・令和5年度・令和6年度の連続した3年間で、単位数＋カリキュラムコード数が合計60以上取得者に、令和7年12月1日付けで「日本医師会生涯教育認定証」が発行された（135名：有効期限3年間）。また、「学習単位取得証」の発行は取りやめになり、会員が各自、MAMISで確認する方法となった。

2 日本医師会かかりつけ医機能研修の実施

1) 日本医師会かかりつけ医機能研修制度令和7年度応用研修会（Web講習会）

第1回目が令和7年9月21日、日医会館においてハイブリッドで開催され、「肝臓病」「慢性腎臓病」「高齢者肺炎」「骨粗鬆症」「リハビリテーション」「事例検討」について講義6題が行われた。第1回目に限り、医療機関や自宅等での視聴が困難な方に対して日医からのライブ配信を視聴できる座学会場（県医師会館）を設置して対応した。出席者は、日医会館2名、県医師会館50名であった。

第2、3回目はWebのみで開催され、第1回目の録画映像がライブ配信された。

- ・第2回：令和7年10月19日
- ・第3回：令和7年11月3日

2) 鳥取県医師会かかりつけ医機能登録制度に関する説明会

令和7年8月29日、県医師会館においてハイブリッドで開催した。講師に城守国斗日医常任理事を迎え、報告制度設立までの経緯や制度の仕組み、報告の内容、実際に医療機関が行うことなどについて分かりやすく説明いただいた。詳細は、会報第843号に掲載した。

3) 日本医師会かかりつけ医機能報告制度説明会

令和8年3月12日、Webで開催され、三上常任理事が出席した。議事として、(1)かかりつけ医機能報告、(2)かかりつけ医機能報告における「院内掲示による公表」の修正手順等について説明が行われた。詳細は、会報第850号に掲載した。

4) 訪問リハビリテーションにおける「適切な研修」修了者名簿の作成ならびに情報提供

県理学療法士会より、日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会修了者名簿の提供について依頼があった。過去3年以内の修了者のうち、提供について承諾が得られた者の名簿を提供した。

3 日本専門医機構との連携

1) 専門医共通講習会

(1) 令和7年7月20日 【医療倫理：1単位】

令和7年度鳥取県医学会 於：鳥取県医師会館

演題：医療倫理と医療メディスン

講師：公益社団法人鳥取県看護協会 教育部次長 松岡真弓 氏

(2) 令和7年10月26日 【医療安全：1単位】

令和7年度鳥取県医師会母体保護法指定医師研修会 於：鳥取県医師会館

演題：症例から学ぶ安心・安全な医療への取り組み

講師：鳥取県医師会母体保護法指定医師審査委員会委員 岩部富夫 先生

5. 医学、医療の国際交流に関する事項

1 鳥取大学等との連絡協調

国立大学法人鳥取大学との連携強化として関係する諸会議等が以下のとおり開催された。

1) 鳥取大学経営協議会

- (1) 令和7年5月27日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)地域未来共創センターの現状と今後、(2)民間等からの資金獲得強化について協議が行われた。
- (2) 令和7年6月18日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)令和6年度決算について、(2)学長選考・監察会議委員の選出について協議が行われた。また、(1)令和7年度入試状況について、(2)令和6年度就職状況についてなど報告があった他、広報の強化について討議がなされた。
- (3) 令和7年9月22日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、2025年度におけるガバナンスコード適合状況確認について協議が行われた。また、令和8年度運営費交付金概算要求についてなど報告があった他、留学生受け入れの現状と将来の学環構想について討議がなされた。
- (4) 令和7年11月26日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)令和7年度人事院勧告対応について、(2)令和7年度学内補正予算について協議が行われた。また、鳥取大学附属病院の新病院及びホスピタルパーク建設に伴う湊山公園の開発スケジュールについてなど報告があった他、鳥取大学の附属学校園の現状と今後の方向性について討議がなされた。
- (5) 令和8年3月26日、ホテルニューオータニ鳥取において開催され、渡辺顧問が出席した。
(1)令和8年度鳥取大学予算、(2)令和7年人事院勧告への対応について協議が行われた。また、(1)令和7年度決算スケジュール、(2)大学基金の現状についてなど報告があった他、産学連携の強化について討議がなされた。

2) 鳥取大学学長選考・監察会議

- (1) 令和7年6月18日、鳥取大学において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、(1)議長の選出について審議が行われ、議長に渡辺顧問が選出された。また、今後のスケジュールについて審議の結果、承認された。
- (2) 令和8年3月26日、ホテルニューオータニ鳥取において開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、次期学長候補者選考に係る意向調査の投票資格者について協議が行われた。

3) 鳥取大学医学部地域医療学講座あり方懇話会

令和8年3月12日、Webで開催され、清水会長が出席した。議事として、(1)地域医療学講座の活動実績、(2)鳥取県の総合診療専門医を育てるプログラムの現状と課題（総合診療医育成強化専門員）、(3)地域卒学生に関して（キャリア支援ならびに卒前卒後のシームレスなマネジメント）などについて報告、協議が行われた。

4) 鳥取県地域医療支援センター運営委員会

令和7年10月23日、鳥大医学部においてハイブリッドで開催され、清水会長が出席した。主な議事として、(1)医師不足病院等の把握・分析、同支援、(2)医師確保奨学金とキャリア形成支援、広報事業の実施、(3)第1回トリノスセミナーの実施などについて協議が行われた。また、令和8

年度医学部臨時定員、医師偏在対策に係る国要望の状況、「とっとり医療人養成枠」の新設などについて報告があった。

2 医学、医療の国際交流

1) IPPNW（核戦争防止国際医師会議）日本支部（JPPNW）への参画

全役員、3地区医師会長を登録している。令和7年11月20日開催の「第7回理事会」において全員から了承を得られたため、令和7年度も更新した（会費年額1,500円）。

6. 公衆衛生の指導啓発に関する事項

1 公衆衛生活動への協力

関係団体との連携を図り、各種公衆衛生活動に協力した。

1) 鳥取県公衆衛生協会理事会

令和7年5月27日、テレビ会議で開催され、清水会長（県公衆衛生協会会長）、辻田副会長、秋藤常任理事が出席した。議事として、(1) 役員交代、(2) 令和6年度事業報告及び収支決算案、(3) 令和7年度事業計画及び収支予算案、(4) 第65回鳥取県公衆衛生学会（7/8 エースパック未来中心）、(5) 第68回中国地区公衆衛生学会（8/28-29 広島市）について協議が行われた。

2) 第65回鳥取県公衆衛生学会

令和7年7月8日、エースパック未来中心において開催され、清水会長（県公衆衛生協会会長）が開会挨拶をした。特別講演「腸管出血性大腸菌O157感染症って何？ー施設での集団感染事例と病原性のメカニズム」（講師：鳥大医学部医学科感染制御学講座 小幡史子准教授）、研究発表（第1分科会：保健、第2分科会：衛生・環境）が行われた。

3) 鳥取県社会福祉審議会

- (1) 令和7年11月13日、県庁において開催され、辻田副会長が出席した。議事として、社会福祉施設等施設整備費補助金国庫協議優先順位設定基準の見直しについて審議された後、(1) 民生委員審査専門分科会、(2) 心身障がい福祉専門分科会の決議事項についてそれぞれ報告があった。また、その他として、(1) 平成30年12月に発生した県立皆成学園入所児童の死亡事案の検証結果、(2) 令和7年3月に発生した県立総合療育センターにおける児童死亡事案についても報告が行われた。
- (2) 令和8年2月5日、県庁において開催され、辻田副会長が出席した。議事として、(1) 社会福祉施設等施設整備費補助金国庫協議優先順位設定基準、(2) 社会福祉施設等施設整備費国庫補助金（令和8年度当初分）協議優先順位について審議された後、(1) 病床転換助成事業補助金、(2) 民生委員審査専門分科会の決議事項、(3) 心身障がい福祉専門分科会の決議事項について報告が行われた。また、その他として、令和3年8月に児童養護施設で発生した児童自死事案の再検証に係る報告が行われた。

4) 鳥取県社会福祉審議会心身障がい福祉専門分科会指定医師等審査部会

- (1) 令和7年7月3日、書面で行われ、辻田副会長が回答した。議事として、(1) 自立指定医療機関の指定1件、(2) 自立指定医療機関の変更承認1件、(3) 身体障害者手帳交付申請の却下1件、(4) 医師の指定7件について審査が行われ、いずれも適当であると認められた。
- (2) 令和7年12月17日、書面で行われ、辻田副会長が回答した。議事として、(1) 自立指定医療機関の変更承認4件、(2) 身体障害者手帳交付申請の却下1件、(4) 医師の指定4件について審査が行われ、いずれも適当であると認められた。
- (3) 令和8年3月23日、書面で行われ、辻田副会長が回答した。議事として、(1) 自立指定医療機関の変更承認4件、(2) 身体障害者手帳交付申請の却下1件、(4) 医師の指定2件について審査が行われ、いずれも適当であると認められた。

5) 鳥取県保健事業団理事会・評議員会

<理事会>

- (1) 令和7年5月8日、保健事業団において開催され、岡田常任理事（副理事長）が出席した。議事として、(1)令和6年度事業報告及び収支決算、(2)評議員並びに役員等候補者の推薦、(3)定時評議員会の招集について審議が行われ、承認された。また、職務執行状況などについて報告された。
- (2) 令和7年11月11日、保健事業団において開催され、岡田常任理事（副理事長）が出席した。議事として、本部機能移設用地等の取得について審議が行われ、原案どおり承認された。
- (3) 令和8年3月5日、保健事業団において開催された。議事として、(1)令和8年度事業計画及び収支予算、(2)規程等の変更、(3)役員賠償責任保険の加入について審議が行われ、承認された。

<評議員会>

令和7年5月29日、保健事業団において開催され、瀬川副会長が出席した。議事として、(1)令和6年度事業報告及び収支決算、(2)評議員の選任、(3)役員等の選任について審議が行われ、承認された。

2 健康づくり文化の創造推進

1) 鳥取県心といのちを守る県民運動会議

令和8年2月5日、県庁においてハイブリッドで開催され、松田常任理事が出席した。議事として、(1)自死の現状、(2)鳥取県自死対策計画（第2次）の経過、(3)各団体、各保健所における自死対策に向けた取組、(4)こどもの自殺対策推進パッケージ、(5)自死対策強化月間（3月）の取組などについて報告、協議が行われた。

2) 鳥取県健康づくり文化創造推進会議

令和8年1月22日、県庁等においてハイブリッドで開催され、松田常任理事が出席した。議事として、(1)「鳥取県健康づくり文化創造プラン（第四次）」の概要、(2)「鳥取県健康づくり文化創造プラン（第四次）」期間中（R6～R11）の計画について報告が行われた後、(1)令和7年度の事業説明（県・各団体）の取組内容、(2)鳥取方式フレイル予防対策推進事業、(3)健康寿命延伸に関する調査・分析事業などについて協議が行われた。

3) 鳥取県健康づくり文化創造推進県民会議（鳥取県8020運動推進協議会）

令和7年10月23日、県歯科医師会館において開催され、松田常任理事が出席した。議事として、(1)令和7年度歯科保健事業実施状況、(2)各歯科健診データの推移、(3)来年度事業案について報告、協議が行われた。

3 県民健康教育活動の展開

昭和55年9月より日本海新聞に掲載している「保健の窓」は計1,391回となった。また、平成6年2月より日本海新聞に掲載している「健康相談室『鳥取県医師会Q&A』」は計952回となった。

1) 鳥取県医師会公開健康講座・健康医療相談

平成3年4月、鳥取県医師会館（鳥取県健康会館）竣工に伴い、広く県民の健康教育を図るため、同年5月16日より毎月1回、第1木曜日の午後2時から午後3時30分まで（講演1時間・質疑応答30分）県医師会館において、「鳥取県医師会公開健康講座」を開催している。本講座は、平成7年度より鳥取県立生涯学習センターが行う「とっとり県民カレッジ・健康・スポーツコース」の連携講座として協力している。公開健康講座の広報は、日本海新聞「保健の窓」欄を利用して周知したほか、「とっとり市報」、各新聞社等へもPRしている。

また、毎月1～4週の各木曜日の午後1時30分から1時間実施している面談による健康医療相談は、第1週：精神科、第2・4週：内科、第3週：整形外科として実施した。

<本年度開催した公開健康講座>

第361回 令和7年4月3日（木）午後2時～3時30分 [聴講者125名]

「骨粗鬆症の恐怖：何もしなければ5人に1人が骨折します」

東京慈恵会医科大学整形外科学教授・大学病院副院長 齋藤 充 先生

第362回 令和7年5月1日（木）午後2時～3時20分 [聴講者 56名]

「実は身近な肝臓癌のお話」

鳥取赤十字病院消化器内科副部長 松木由佳子 先生

第363回 令和7年6月5日（木）午後2時～3時15分 [聴講者103名]

「看取り 多死の時代」

老人保健施設はまゆう施設長、はまゆう診療所管理者 田中敬子 先生

第364回 令和7年7月3日（木）午後2時～3時25分 [聴講者61名]

「肺炎とその予防」

鳥取県立中央病院院長 千酌浩樹 先生

第365回 令和7年8月7日（木）午後2時～3時20分 [聴講者42名]

「あなたに漢方薬ができること～漢方養生あれこれ」

市場医院内科副院長 來間美帆 先生

第366回 令和7年9月4日（木）午後2時～3時20分 [聴講者77名]

「大切にしたい腎臓の健康～腎臓を守る生活と治療の話～」

のぐち内科クリニック院長 野口圭太郎 先生

第367回 令和7年10月16日（木）午後2時～3時30分 [聴講者18名]

①「スポーツとこころの育ち」

鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻講師

臨床心理士・公認心理師 太田真貴 氏

②「発達段階に合わせた子どもの体づくり～幼児期から学童期まで～」
イッポラボ合同会社代表社員 中学校部活動指導員（バレーボール） 田中大一 氏

第 368 回 令和 7 年 1 1 月 6 日（木）午後 2 時～3 時 1 0 分 [聴講者 5 3 名]
「知っておきたい前立腺の病気 ～炎症・肥大症・がん～」
吉野・三宅ステーションクリニック院長 中村勇夫 先生

第 369 回 令和 7 年 1 2 月 4 日（木）午後 2 時～3 時 2 5 分 [聴講者 4 5 名]
「聞いてビックリ！腸にまつわるあれこれ」
こおげ駅前クリニック院長 岡田智之 先生

第 370 回 令和 8 年 1 月 8 日（木）午後 2 時～3 時 1 0 分 [聴講者 5 3 名]
「難聴とその対処—主に補聴器について—」
鳥取県立中央病院耳鼻いんこう科部長 裕田猛真 先生

第 371 回 令和 8 年 2 月 5 日（木）午後 2 時～3 時 1 5 分 [聴講者 2 5 名]
「子宮がん・卵巣がん～あなたとあなたの大切な人のために～」
鳥取県立中央病院産婦人科部長 工藤明子 先生

第 372 回 令和 8 年 3 月 5 日（木）午後 2 時～3 時 2 0 分 [聴講者 7 2 名]
「沈黙の臓器・膵臓のトリセツ～はたらき・病気・早期発見～」
内科・消化器内科片原ごとうクリニック院長 後藤大輔 先生

2) 健康相談室

日本海新聞に月 2 回（第 2 火曜、第 4 月曜日）、「医療・福祉特集紙面」に掲載した。

7. 地域医療の進展発展に関する事項

1 救急医療対策

1) 高度救命処置研修開催事業（補助事業）

鳥取県より、医師、看護師、救急救命士等を対象とした「高度救命処置研修開催事業」が委託され、平成18年度からは補助事業として実施している。メディカルコントロール協議会の中心となるJPTEC、ACLSの概念の理解を得て、鳥取県下のインストラクター・プレインストラクター等を養成することが目的である。

<JPTEC研修会>

- (1) 令和7年 6月29日 鳥取大学医学部：参加者数12人
- (2) 令和7年 8月10日 鳥取県立福祉人材研修センター：参加人数12人
- (3) 令和7年11月16日 三朝温泉病院：参加者数5人

<ACLS研修会>

- (1) 令和7年 6月22日 鳥取県立厚生病院：参加人数12人
- (2) 令和8年 2月22日 鳥取県立厚生病院：参加人数12人

2) 鳥取県救急搬送高度化推進協議会

- (1) 令和7年9月17日、Webで開催され、山崎理事が出席した。協議会の概要説明の後、(1)鳥取県救急活動プロトコルに係る令和6年度継続検討事項、(2)救急救命士の特定行為に係る各種実習要領の改訂、(3)消防ワーキンググループの開催などについて協議が行われた。また、「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準」による救急搬送状況について報告があった。
- (2) 令和8年3月18日、Webで開催され、山崎理事が出席した。議事として、(1)「傷病者の搬送及び受入れに関する実施基準」の一部改訂、(2)消防ワーキンググループ会議「DNAR 事案の救急搬送状況と課題の検討」の結果、(3)来年度の予定などについて協議が行われた。

3) 第41回日本救急医学会中国四国地方会

令和7年5月30～31日の2日間にわたり、出雲市において、「多職種連携で守り育てる地域の救急医療～10年先を見据えた地域の救急医療の形を考えよう～」をメインテーマに開催された。

2 防災対策

1) 日本医師会 J M A T 研修

<基本編>

令和8年1月11日、日医会館において開催され、栗原主事が出席した。事前に e ラーニングによる受講を済ませた上で、当日は、講義及び実習9題、(1)情報の共有・記録(前半)、(2)被災地における活動1、(3)事例紹介、(4)情報の共有・記録(後半)、(5)被災地における活動2、(6)被災地における活動3、(7)日医への情報発信、全国の医師会との情報共有、(8)トリアージ、(9)熱傷・外傷の処置が行われた。詳細は、会報第848号に掲載した。

<統括編>

令和8年2月15日、日医会館においてハイブリッドで開催され、池田常任理事が出席した。事前に e ラーニングによる受講を済ませた上で、当日は、(1)保健医療福祉調整本部の運営、コーディネイト機能、(2)統括 J M A T 活動、(3)日本医師会への情報発信、全国の医師会との情報共有などについて実習が行われた。

2) 災害時小児周産期リエゾン養成研修

県立中央病院小児科 田中 登先生、同萩元慎二先生、県立厚生病院産婦人科 長田広樹先生、鳥大医学部附属病院女性診療科 元村衣里先生の4名がオンデマンド配信により講義を視聴した後、集合型研修、(1)令和7年11月16日、国立国際医療研究センター、(2)令和7年12月7日、国立国際医療研究センター、(3)令和8年1月18日、国立病院機構大阪医療センター、(4)令和8年2月1日、国立国際医療研究センターに分散して出席した。出席者は、研修受講後、県災害医療コーディネーター(小児周産期担当)に委嘱される可能性がある。

3) 鳥取県 D M A T 連絡協議会

令和7年11月5日、Webで開催され、岡本事務局長、田中尚係長が出席した。議事として、(1)令和8年度災害医療に関する研修、訓練(ぼうさいこくたい2026鳥取県開催、令和8年度中国地区 D M A T 連絡協議会実動訓練)について協議が行われた。

4) 鳥取県防災会議

令和7年11月4日、県庁においてハイブリッドで開催され、事務局が出席した。議事として、鳥取県地域防災計画及び鳥取県広域住民避難計画の修正について協議が行われた。

5) 鳥取県国民保護協議会

令和8年2月17日、県庁においてハイブリッドで開催され、事務局が参加した。

6) 公立豊岡病院ドクターヘリ運航調整委員会

令和8年3月17日付け、書面で開催された(委員は清水会長)。資料として、委員名簿、令和6～7年度運航状況、年次統計が送付された。鳥取県では令和6年度は203件、令和5年度は63件の出動であった。

3 共同利用施設対策

1) 全国医師会共同利用施設総会

令和7年8月30～31日の2日間に亘り、「地域に根ざした医師会共同利用施設のあり方～2040年問題が及ぼす影響と対策」をメインテーマに高崎市において開催され、福島理事が出席した。1日目は、特別講演「日本医師会の医療政策」（講師：松本日医会長）の後、令和6・7年度全国医師会共同利用施設長検査健診管理者連絡協議会報告が行われ、続いて3つの分科会が開催された。2日目は、群馬県内共同利用施設紹介、分科会報告、全体討議、総括が行われた後、次期開催県である宮崎県医師会長から挨拶があった。詳細は、会報第844号に掲載した。

4 医師確保対策、女性医師対策、男女共同参画

1) 第7回ようこそ、鳥取県へ～初期臨床研修医歓迎の夕べ～

令和7年6月26日、米子コンベンションセンターにおいて県臨床研修指定病院協議会との共催で開催し、講演「医師の働き方改革（ワークライフバランス）と医師会」（瀬川副会長、來間理事）の後、「歓迎の夕べ」を行った。70名（うち研修医41名）の参加で、研修医からスピーチをしていただくなど、大変盛会で有意義な会であった。詳細は、会報第841号に掲載した。

2) 第19回日本医師会男女共同参画フォーラム

令和7年5月17日、郡山市において開催され、秋藤常任理事、來間理事が出席した。「ダイバーシティを踏まえたキャリア支援」をメインテーマに基調講演2題、報告、シンポジウム、総合討論等が行われた。詳細は、会報第840号に掲載した。

3) 男女共同参画推進委員会

令和7年7月24日、県医師会館においてハイブリッドで開催した。議事として、(1)Joy!しろうさぎ大賞、(2)令和7年度鳥取県女性医師の会、(3)Joy!しろうさぎ通信について協議を行った後、各地区における活動報告および出張報告等を行った。詳細は、会報第842号に掲載した。

4) 鳥取県女性医師の会

令和7年10月16日、ホテルモナーク鳥取において鳥大医学部附属病院との共催で開催した。「Joy!しろうさぎ大賞」の授与式では湯川喜美先生（中部医師会会員）を表彰した。その後、大賞受賞講演、東部地区からの発表、鳥取県医師会からの情報提供を行った。詳細は、会報第845号に掲載した。

5) 日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携中国四国ブロック会議

令和7年11月3日、岡山県医師会館において山口県医師会の担当で開催され、秋藤常任理事、來間理事が出席した。議事として、(1)日医ドクターサポートセンターからの報告、(2)各県医師会における取組み報告（ドクターバンク、女性医師支援）、(3)情報交換および問題提起が行われた。詳細は、会報第846号に掲載した。

6) 日本医師会女性医師バンクとの連携

日本医師会より依頼があった。本会ホームページにリンクするとともに、会報へ掲載し会員に周知した。

7) 医学生サマーセミナーin鳥取2025への協力

令和7年8月4日～9月12日、鳥取県の地域医療に関心のある県内外の医学生を対象に県内医療機関において実施されたセミナーに協力した。

8) 医学生スプリングセミナー（地域医療体験研修）への協力

令和8年2月24日～3月19日、医学生を対象に鳥取県内の病院・診療所で医療現場を体験する「医学生スプリングセミナー（地域医療体験研修）」に協力した。

9) 医業承継相談窓口の開設

令和5年10月、本会ホームページに「医療承継相談窓口」を開設した。相談の進め方は、(1) 会報に掲載、(2) 事業承継引継ぎ支援センターへの情報提供、(3) 地区医師会及び病院への情報提供を基本方針としている。

10) 医療・社会福祉・保育施設等物価高騰対策応援金

物価高騰の長期化により、光熱費等の負担増が継続していることから、県内の医療機関、社会福祉施設、保育施設等を運営する事業者に対して、県から応援金が支給された。

5 地域医療対策

1) 鳥取県地域医療対策協議会

- (1) 令和7年12月16日、テレビ会議で開催され、千酌理事（協議会長）、地区医師会長が出席した。議事として、(1)令和8年度鳥取県地域医療介護総合確保基金（医療分）、(2)へき地医療拠点病院の指定について協議が行われた。また、(1)地域医療構想、(2)かかりつけ医機能報告制度、(3)鳥取大学医学部附属病院の再整備、(4)鳥取大学医学部附属病院の病床の種別変更、(5)令和8年度医学部臨時定員等、(6)地域枠「とっとり医療人養成枠」の報告、(7)令和7年度医師臨床研修マッチング結果及び今後の対応、(8)令和8年度医師専門研修プログラムに係るシーリング、(9)令和7年度厚生労働省補正予算案などについて報告があった。
- (2) 令和8年3月24日、テレビ会議で開催され、千酌理事（協議会長）、地区医師会長が出席した。議事として、(1)令和8年度鳥取県地域医療介護総合確保基金（医療分）、(2)令和9年度医学部臨時定員に係る増員申請方針案、(3)令和9年度臨床研修病院の研修医募集定員の配分方法案について協議が行われた。また、(1)へき地医療拠点病院の指定（済生会境港総合病院）、(2)第8次鳥取県保健医療計画の達成状況、(3)重点医師偏在対策支援区域の設定、(4)令和8年度県派遣医師の配置、(5)鳥大医学部附属病院の病床の種別変更、(6)新たな地域医療構想、(7)第8次鳥取県保健医療計画の中間見直し、(8)令和8年度厚労省補正予算「病床数適正化支援事業」について報告があった。

2) 医療政策研修会及び地域医療構想アドバイザー会議

(1) 医療政策研修会

令和8年3月17日より厚生労働省 You Tube チャンネルにて研修動画が配信され、野坂西部医師会顧問が視聴した。

(2) 鳥取県東部保健医療圏地域保健医療協議会全体会議及び医療提供部会合同会議 (地域医療構想調整会議)

令和7年12月12日、東部医師会館においてハイブリッドで開催され、野坂西部医師会顧問が出席した。主な議事として、(1)第8次鳥取県保健医療計画の概要・中間見直し、(2)東部圏域の地域医療構想の推進、(3)新たな地域医療構想、(4)病床数適正化支援事業の活用状況、(5)地域医療介護総合確保基金（医療）、(6)紹介受診重点医療機関（令和8年度）の選定などについて協議が行われた。

(3) 鳥取県中部保健医療圏地域保健医療協議会(全体会)兼中部圏域地域医療構想調整会議

令和8年2月18日、中部総合事務所においてハイブリッドで開催され、野坂西部医師会顧問が出席した。主な議事として、(1)8次鳥取県保健医療計画の概要・中間見直し、(2)地域医療支援病院、(3)中部圏域における紹介受診重点医療機関の選定、(4)中部圏域の地域医療構想の推進状況について報告があった後、(1)地域医療介護総合確保基金の新規メニュー提案、(2)三朝温泉病院単独病床機能再編計画などについて協議が行われた。

(4) 鳥取県西部保健医療圏地域保健医療協議会(全体会議)兼鳥取県西部圏域地域医療構想調整会議

令和7年11月19日、西部総合事務所においてハイブリッドで開催され、野坂西部医師会顧問が出席した。議事として、(1)第8次鳥取県保健医療計画の概要・中間見直し、(2)病床数適正化支援事業の活用、(3)鳥取大学医学部附属病院 SCU 増床に伴う病床変更、(4)鳥取大学医学部附

属病院再整備計画の概要、(5)日野郡の医療・福祉・介護提供体制、(6)西部圏域における紹介受診重点医療機関の選定について報告があった後、(1)西部圏域の地域医療構想の推進、(2)地域医療介護総合確保基金の新規メニュー提案などについて協議が行われた。

3) 厚生労働省「地域医療構想の取組の推進に向けた調査」にかかる説明会

令和7年9月5日、Webで開催され、秋藤常任理事が出席した。厚生労働省による本調査は、「経済財政運営と改革の基本方針2025」の内容を踏まえ、許可病床数、医療措置協定に基づく確保病床数、当面の病床削減予定などを定期的に把握することを目的にしている旨の説明があった。

6 有床診療所対策

1) 鳥取県有床診療所協議会

平成22年5月9日に設立し、令和8年3月末現在の会員数は11名である。

2) 第2回全国有床診療所協議会総会

令和7年7月19～20日の2日間に亘り、「地域医療のはざまを埋める有床診療所」をメインテーマに秋田市において開催され、特別講演、講演、報告、シンポジウム等が行われた。前身の全国有床診療所連絡協議会から一般社団法人に法人化されて第2回の総会となった。

3) 全国有床診療所協議会中国四国ブロック会役員会

令和8年1月25日、岡山県医師会館において開催された。議事として、(1)令和7年度全国有床診療所協議会中国四国ブロック会第17回総会等の運営、(2)第2回一般社団法人全国有床診療所協議会総会(秋田大会)について報告があった後、(1)令和8年度第18回全国有床診療所協議会中国ブロック会総会の日程等について協議が行われた。

4) 全国有床診療所協議会中国四国ブロック会第17回総会・中国四国医師会連合有床診療所研修会

令和8年1月25日、役員会に引き続き岡山県医師会館において開催された。初めに、中国四国ブロック会総会議事が行われ、令和6年度事業報告及び収支決算報告と今後の交流会開催について協議が行われた。その後、研修会に移り、特別講演2題、(1)有床診療所の経営と今後の課題(講師：江口成美日医総研主席研究員)、(2)日本医師会が抱える諸問題～かかりつけ医機能報告制度および令和8年度診療報酬改定～(講師：城守日医常任理事)、特別発言(発言者：猿木全国有床診療所協議会理事長)が行われた。詳細は、会報第848号に掲載した。

8. 地域保健の向上に関する事項

1 健康診査管理指導事業対策

鳥取県健康対策協議会と共同で「がん対策」「若年者心疾患」を中心に事業を実施した。

1) 鳥取県がん対策推進県民会議

令和7年9月11日、テレビ会議で開催され、岡田常任理事が出席した。議事として、(1)令和6年度鳥取県がん対策推進県民会議の概要、(2)令和7年度鳥取県のがん対策関連事業、(3)75歳未満年齢調整死亡率及び全国がん登録データに基づくがん罹患の状況について報告があった後、令和7年度がん対策推進計画アクションプランについて協議が行われた。

2) 鳥取県がん診療連携協議会

令和7年12月1日、鳥大医学部附属病院において開催され、辻田副会長が出席した。議事として、(1)規則の変更、(2)各施設の実績と今後の計画及び各施設からの要望、(3)鳥取県からの連絡事項、(4)がん種ごとの集約化について協議が行われた後、(1)委員の委嘱、(2)第18回及び第19回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告、(3)都道府県がん診療連携拠点病院PDCAサイクルフォーラム、(4)今年度の作業部会活動中間報告について報告があった。

3) 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会理事会・評議員会

令和8年1月31日、ホテルニューオータニ鳥取において開催され、清水会長が第57回総会会長として挨拶を述べた。議事として、(1)令和6年度事業活動報告、(2)第56回総会会長挨拶、(3)令和6年度収支決算案承認、(4)令和8年度事業計画案承認、(5)第58回総会会長挨拶、(6)令和8年度収支予算案承認、(7)第59回総会会長、(8)学術研修委員会活動計画、(9)会員の動向および新役員選任、(10)総会決議・要望書の採択が行われた後、若心協事務局の委託について協議が行われた。

4) 第57回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会

令和8年2月1日、県医師会館において開催した。長嶋協議会会長ならびに清水総会会長の挨拶の後、松本日医会長、平井知事から来賓挨拶をいただいた。その後、ワークショップ、各種委員会報告、特別講演などプログラムに沿って行った。参加者は115名で盛会であった。詳細は、会報第848号に掲載した。

2 鳥取県臨床検査精度管理事業

1) 鳥取県臨床検査精度管理調査

令和7年度も9部門で実施した。基本参加費は、主催2団体（県医師会、県臨床検査技師会）の会員施設1,000円、非会員施設5,000円で、参加1部門あたり1,000円とした。なお、平成22年度に始まった日本臨床衛生検査技師会による「日臨技精度保証施設認証制度」の申請条件として都道府県の精度管理調査事業への参加が必須となっており、昨年度よりWebのみの申し込みになったことから、詳細な申込み手順を本会ホームページに掲載した。

2) 鳥取県臨床検査精度管理調査報告会

令和7年12月7日、県医師会館において開催され、会長代理として瀬川副会長が挨拶を述べた。当日の報告会の要約を会報第847号に掲載し、参加医療機関に報告書（CD-ROM）を配付した。

3) 臨床検査精度管理委員会

令和8年1月29日、Webで開催した。議事として、(1)令和7年度実施報告、(2)令和7年度報告会、(3)報告書の編集、(4)令和8年度事業に向けての課題などについて報告、協議を行った。詳細は、会報No.848号に掲載した。

4) 鳥取県・鳥取市精度管理専門委員会

- (1) 令和7年10月9日、Webで開催され、後藤東部医師会理事、小林 哲先生（西部医師会員）が出席した。議事として、衛生検査所の現状について報告があった後、令和7年度衛生検査所立入検査の実施方針について協議が行われた。
- (2) 令和8年3月23日、Webで開催され、後藤東部医師会理事、小林 哲先生（西部医師会員）先生が出席した。議事として、(1)衛生検査所の現状、(2)令和7年度鳥取県臨床検査精度管理調査結果について報告があった後、令和7年度衛生検査所立入検査等の結果について協議が行われた。

3 特定健診・保健指導への対応

1) 令和7年度特定健康診査・特定保健指導委託契約

令和7年4月1付けで鳥取県医師会と鳥取県の代表保険者である「健康保険組合連合会鳥取連合会」との間で締結した。特定健診委託料は、特定健診（基本健診8,800円、詳細健診：貧血230円、心電図1,430円、眼底1,230円、追加健診：クレアチニン0円、尿酸0円）、特定保健指導（動機付け支援8,800円、積極的支援33,000円）とした。

2) 特定健診受診率向上のための「みなし健診」実施にかかる国保連合会との契約

鳥取県国保連合会では、医療機関で検査された患者の同意のうえ、特定健診に関連する検査データの提供をいただく「みなし健診」の取組みを行っており、市町村国保を取り纏める鳥取県国保連合会と鳥取県医師会が集合契約（委託料1件3,500円＋消費税）を締結した。

3) 特定健診受診率向上のための「みなし健診」実施にかかる協会けんぽとの契約

令和3年度より、協会けんぽにおいても、「みなし健診」を全県的に実施しており、本会との間で契約を結んでいる。取組みについては、国保連合会との契約と同様であるが、医療機関で検査された患者の同意のうえ、特定健診に関連する検査データの提供をいただく。委託料も1件3,500円＋消費税と同様であるが、この事業への参加医療機関は、本会が取り纏めている集合契約に手上げをされた全医療機関が対象となる。

4) 後期高齢者医療における治療中の方の健康診査等情報提供「みなし健診」への協力

国保連合会と鳥取県医師会が委託契約を結び、令和5年度より後期高齢者医療においてみなし健診を実施している（市町村国保は令和2年度より実施済）。市町村国保のみなし健診と同じスキームで実施し、情報提供料も1件あたり3,850円（消費税込）と同額である。参加医療機関は、本会が取り纏めている集合契約に手上げをされた全医療機関が対象となる。

4 地域保健活動の推進

1) 喫煙健康被害予防対策の取り組みについて

本会ホームページに「禁煙指導医・講演医」名簿を掲載したほか、次のとおり活動した。

2) 禁煙指導対策委員会

令和8年2月5日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)各地区での講習会の開催状況等、(2)ニコチン依存症管理料に係る報告書集計結果、(3)鳥取県における禁煙対策・受動喫煙防止対策、(4)令和8年度禁煙指導医・講演医養成のための講習会などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第848号に掲載した。

3) 「禁煙指導医・講演医」養成のための講習会

地区医師会との共催により、次のとおり開催した。

[東部地区]

日 時 令和7年9月5日(金) 午後7時～午後8時
場 所 東部医師会館 鳥取市富安
出席者 29名(医師25名、その他4名)
演 題 知ってびっくり!タバコの真実
講 師 沖縄大学学長 健康栄養学部管理栄養学科教授 山代 寛先生

[中部地区]

日 時 令和8年3月4日(水) 午後7時～午後8時
場 所 中部医師会館 倉吉市旭田町
出席者 17名(医師17名)
演 題 依存症の視点から考える禁煙支援
講 師 安陪内科医院院長 安陪隆明先生

[西部地区]

日 時 令和8年2月19日(木) 午後7時～午後9時
場 所 西部医師会館(Zoom併用ハイブリッド) 米子市久米町
出席者 53名(医師44名、その他9名)
演 題 喫煙行動の多様化と若年層への影響
講 師 国立大学法人鳥根大学 松江保健管理センター 准教授 杉原志伸先生

4) 中国四国厚生局に提出する「ニコチン依存症管理料に係る報告書」の情報提供

県内ニコチン依存症管理料届出医療機関宛に、8月中国四国厚生局へ「ニコチン依存症管理料に係る報告書」を提出する際、同時に本会へ写しのファックスをお願いしている。提供いただいた情報は、医療機関名等を匿名化の上、本会の事業のみに利用し、他の目的には使用していない。

5 鳥取県がん征圧大会

令和7年9月9日、とりぎん文化会館において「健康は予防と検診の二刀流」をスローガンに県・保健事業団・県医師会の主催で開催し、清水会長が挨拶を述べた。鳥取県がん対策従事者功労知事表彰と鳥取県保健事業団理事長感謝状表彰の後、特別講演「肝臓撲滅を目指して～ウイルス性肝炎だけでなく生活習慣病から肝臓へ!?!～」(講師:千代水の森 おなかと内科のクリニック 満田朱理先生)を行った。詳細は、会報第844号に掲載した。

6 アレルギー対策事業（委託事業）

1) 鳥取県アレルギー疾患医療連絡協議会

令和8年2月17日、Webで開催した。議事として、(1)アレルギー疾患医療提供体制、(2)鳥取県アレルギー疾患医療拠点病院における取組、(3)令和8年度アレルギー対策推進事業（案）、(4)アレルギーに関する情報発信、(5)その他—アドレナリン点鼻液やアドレナリン注射器の使用などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第849号に掲載した。

7 糖尿病対策

鳥取県と委託契約を締結した「糖尿病予防対策連携強化事業」をもとに、下記のとおり推進会議を「鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員会」との合同会議で開催し協議を行った。

なお、地域住民を対象とした「糖尿病予防講演会」および、かかりつけ医を対象とした「日常診療における糖尿病臨床講座」は、運営面について地区医師会へ協力依頼した。

1) 「鳥取県糖尿病対策推進会議」「鳥取県糖尿病療養指導士認定機構統括委員会」 合同会議

(1) 令和7年9月25日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)登録医の現況、(2)登録・更新の対象となる研修会、(3)地区からの各研修会実施状況、(4)糖尿病連携パスの実施状況、(5)インスリン依存状態の糖尿病患者数調査結果、(6)鳥取県糖尿病療養指導士認定機構についての報告があった後、(1)世界糖尿病デーの実施、(2)CKD患者を専門医に紹介するタイミングリーフレットについて協議を行った。詳細は、会報第844号に掲載した。

(2) 令和8年3月12日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和7年度鳥取県糖尿病対策推進会議事業、(2)鳥取県糖尿病療養士認定機構、(3)鳥取県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進状況、(4)その他—糖尿病療養指導士の活動状況（東部地区）、連携手帳の実績把握指針（歯科）について報告があった後、(1)令和8年度鳥取県糖尿病対策推進会議の活動、(2)鳥取県糖尿病療養士認定機構、(3)世界糖尿病デーライトアップイベントについて協議を行った。また、その他として、日本糖尿病学会中国四国地方会第64回総会について情報提供があった。詳細は、会報第850号に掲載した。

2) 鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度による登録

平成25年1月1日、鳥取県医師会ホームページ内に「鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度」のコンテンツを開設し、平成24年4月1日施行した「鳥取県・糖尿病医療連携登録医制度」に基づき登録医の申請が出され、基準を満たしている医師を次のとおり登録した。

・東部21名、中部23名、西部65名（鳥大含む）、計109名（令和8年3月末日現在）。

3) World Diabetes Day in 鳥取 2025 青山剛昌ふるさと館ブルーライトアップイベント (第15回)

令和7年11月14日、青山剛昌ふるさと館において鳥取県糖尿病協会等の主催により開催された。本会としては、令和7年9月18日に開催した「第5回理事会」において名義後援を了承した。

4) 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構

平成28年度から、かかりつけ医や地域保健指導の現場において質の高い糖尿病療養指導を行えるメディカルスタッフを育成していくことを目的に、鳥取県糖尿病対策推進会議の下部組織として鳥取県糖尿病療養指導士認定機構を設置し、鳥取県糖尿病療養指導士の育成、認定を行っている。主な事業は、年3回認定試験受験者のための講習会を東部・中部・西部地区（各1回）で開催後、全3回の講習会受講修了者に対して認定試験を実施し、試験合格者に鳥取県糖尿病療養指導士認定証を発行する。

(1) 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構研修委員会

令和8年1月29日、Webで開催した。議事として、(1)令和7年度事業報告、(2)令和8年度鳥取県糖尿病療養指導士認定機構講習会、(3)鳥取県糖尿病療養指導士の認定更新、(4)鳥取県糖尿病療養指導士の再認定について報告、協議を行った。令和8年度の講習会の募集人員は30名程度とした。

(2) 鳥取県糖尿病療養指導士認定機構認定委員会

令和8年3月12日、テレビ会議で開催した。令和7年度の受験者は27名で、合格ラインを正答率7割とした結果、24名が合格し、鳥取県糖尿病療養士として認定した。また、今年度は平成30年度認定者（第3期生）の認定更新の年であり、対象者は41名である。

(3) 講習会・認定試験

[講習会A]

日時 令和7年9月7日（日）午前9時50分～午後6時

場所 米子コンベンションセンター 米子市末広町

出席者 22名

内容

①糖尿病の現状と課題、その中で鳥取県糖尿病療養指導士が果たすべき役割

講師：住吉内科眼科クリニック 池田 匡先生

②糖尿病の概念、診断、成因

講師：住吉内科眼科クリニック 山本 玲先生

③糖尿病とメタボリックシンドローム、動脈硬化のリスクファクターの管理

講師：村上内科クリニック 村上 功先生

④糖尿病の治療総論、糖尿病の先進医療（インスリンポンプ・持続モニタリング）

講師：鳥取大学医学部 大倉 毅先生

⑤糖尿病の薬物療法（内服薬での治療）

講師：鳥取大学医学部附属病院 細田さとみ氏

⑥糖尿病の薬物療法（注射薬での治療）

講師：鳥取大学医学部附属病院 太田友樹氏

⑦ライフステージ別の療養指導②（妊娠・出産）

講師：鳥取大学医学部 中村理沙先生

⑧糖尿病の食事療法

講師：博愛病院 本多千鶴氏

⑨糖尿病と歯科疾患・医科歯科連携

講師：デンタルサロン・ド・ブライツ院長 足本 敦氏

⑩糖尿病の微小血管障害（網膜症）・内科眼科連携

講師：鳥取大学医学部附属病院 馬場高志先生

[講習会B]

日 時 令和7年10月19日(日) 午前9時50分～午後4時50分

場 所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町

出席者 21名

内 容

①ライフステージ別の療養指導①(乳幼児期、学童期、思春期)

講師：鳥取市立病院 長石純一先生

②糖尿病のその他の合併症

講師：鳥取県立中央病院 村尾和良先生

③糖尿病の大血管障害(動脈硬化性疾患)

講師：岩美病院 吉田泰之先生

④糖尿病の細小血管障害(腎症)

講師：鳥取市立病院 久代昌彦先生

⑤糖尿病の細小血管障害(神経障害)

講師：だんばらクリニック 檀原尚典先生

グループワーク①(血糖自己測定)

CDE-J 若干名

グループワーク②(インスリン注射)

同上

[講習会C]

日 時 令和7年11月16日(日) 午前9時50分～午後5時55分

場 所 エキバル倉吉 倉吉市上井

出席者 24名

内 容

①糖尿病患者の心理と行動

講師：三朝温泉病院 森 倫子氏

②患者教育

講師：三朝温泉病院 森 倫子氏

③糖尿病の運動療法

講師：三朝温泉病院 山口洋司氏

④糖尿病のフットケア

講師：三朝温泉病院 森 倫子氏

⑤糖尿病の検査

講師：真誠会セントラルクリニック 内田智美氏

⑥ライフステージ別の療養指導③(就労期、高齢期)

講師：山陰労災病院 安東史博先生

⑦高齢糖尿病患者の社会支援の受け方

講師：鳥取県立中央病院 奥田聖子氏

⑧糖尿病の急性合併症

講師：鳥取大学医学部 深谷健二先生

⑨特殊な状況・病態時の療養指導①(シックデー、周術期、栄養不良、旅行)

講師：博愛病院 藤岡洋平先生

⑩特殊な状況・病態時の療養指導②(災害対策、医療安全)

講師：鳥取大学医学部 谷口晋一先生

[認定試験]

日 時 令和8年3月1日(日) 午前10時30分～正午

場 所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町

受験者 27名

合格者 24名(合格した24名に認定証を発行した)

8 メンタルヘルス・自殺対策

1) かかりつけ医と精神科医との連携会議（委託事業）

(1) 令和7年9月18日、Webで開催した。議事として、(1)令和6年度各地区うつ病対応力向上研修報告および令和7年度計画、(2)令和6年度精神医療関係者等研修（心の医療フォーラム）報告および令和7年度計画、(3)かかりつけ医と精神科医との連携マニュアルの改訂、(4)令和7年度鳥取県自死対策事業（県健康政策課）などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第844号に掲載した。

(2) 令和8年3月12日、県医師会館においてハイブリッドで開催した。議事として、(1)令和7年度各地区うつ病対応力向上研修の開催報告、(2)令和7年度精神医療関係者等研修（心の医療フォーラム）、(3)令和8年度各地区うつ病対応力向上研修実施計画、(4)令和8年精神医療関係者等研修（心の医療フォーラム）実施計画、(5)「かかりつけ医と精神科医との連携マニュアル」第7版、(6)情報提供（精神保健福祉センター・健康政策課）、(7)当県における自死対策の取り組みの振り返りと今後の展望などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第850号に掲載した。

2) 精神医療関係者等研修「心の医療フォーラム」（委託事業）

令和8年1月16日、エースバック未来中心において、翌17日、とりぎん文化会館において「皆で取り組む地域における自死予防～防ぐことのできる死を一人でも減らすために～」をテーマに開催した。特別講演「自殺予防はみんなの仕事―地域での取り組みを考える―」（講師：国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 所長 張 賢徳先生）の後、各会場3名の講師によるパネルディスカッション並びに総合討論を行った。参加者は倉吉会場37名、鳥取会場52名。詳細は、会報第648号に掲載した。

3) 鳥取県アルコール健康障害・依存症対策会議

令和7年8月6日、県庁において開催され、小林ゆう先生（西部医師会員）が出席した。議事として、鳥取県アルコール健康障害・依存症対策推進計画に基づく令和6年度の取組状況及び令和7年度の取組予定並びに改定について協議が行われた。

9 麻薬対策

1) 鳥取県薬物乱用対策推進本部会議

令和8年3月27日、県庁において開催され、安陪隆明先生（東部医師会員）が出席した。議事として、(1)鳥取県薬物乱用対策推進計画に基づく令和7年度の取組状況、(2)乱用のおそれのある医薬品の薬局等における販売時の対策の強化について報告が行われた。

10 感染症対策

1) 都道府県医師会予防接種担当理事連絡協議会

令和7年12月1日、Webで開催され、秋藤・松田両常任理事が出席した。議事として、「予防接種事務のデジタル化について」（厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課）の説明があった後、質疑応答、総括が行われた。

2) 鳥取県感染症対策連携協議会

令和8年3月16日、Webで開催され、秋藤常任理事が出席した。議事として、(1)鳥取県感染症予防計画のフォローアップ、(2)新型インフルエンザ等対策行動計画、(3)その他一災害時の感染症対応体制・感染症臨床研究ネットワーク事業・各種感染症の発生動向・予防接種に関する最新の動向について報告、協議が行われた。

3) 子ども予防接種週間の実施協力

日医は、例年どおり令和8年3月1日～7日までの7日間、子ども予防接種週間を実施した。昨年度同様、各医療機関に対して土・日曜日等に予防接種が受けられる体制づくり、予防接種に関する啓発等を協力依頼するとともに、地区医師会へ予防接種対策費を助成した。

4) 鳥取県定期予防接種広域化事業におけるRSウイルスに対する母子免疫ワクチン追加に係る意向確認の実施

令和8年4月1日から定期予防接種にRSウイルスに対する母子免疫ワクチンが追加される予定であることを受け、県感染症対策センターより医療機関のとりまとめ方依頼があった。県内164医療機関に意向確認を行った。

5) 感染症情報の周知

日本医師会感染症危機管理対策室及び鳥取県等から感染症に関する通知があり次第、本会メーリングリスト及びホームページ「感染症情報」に掲載し会員へ周知した。なお、各医療機関への即時性を求める情報の場合は、ファックスで全医療機関に周知するとともに、会報掲載もした。

11 学校保健対策

1) 学校医・園医研修会及び鳥取県学校保健会研修会

令和8年1月25日、エースバック未来中心において開催し、「ネット環境と近視について」をテーマに2講演（講師：野島病院眼科部長 寺坂祐樹先生、県教委事務局体育保健課指導主事 前田仁美氏）を行った。参加者は20名。本会指定学校医研修単位は10単位。

2) 都道府県医師会学校保健担当理事連絡協議会

令和8年1月30日、「続・学校における健康診断」をテーマにWebで開催され、松田常任理事が出席した。議事として、(1)「学校における持続可能な保健管理の在り方に関する調査検討会」、(2)日本医師会「学校保健委員会」答申の方向性、(3)機器を用いた側弯症検診の現状、(4)鹿児島県の学校医体制、(5)アンケート結果について協議・報告が行われた後、質疑応答が行われた。詳細は、会報第848号に掲載した。

3) 日本医師会学校保健講習会

令和7年4月13日、日医会館において開催され、松田常任理事が出席した。「学校健康診断に関する諸課題について」をテーマに、午前は中央情勢報告、脊椎側弯症機器検査アンケート結果報告、機器による脊椎側弯症検査のメリット・デメリットについての講演、午後からはシンポジウムと2名の講師による講演が行われた。当日の様子は、日医ホームページメンバーズルームで公開された。詳細は、会報第839号に掲載した。

4) 日本医師会母子保健講習会

令和8年2月8日、日医会館において開催され、「プレコンセプションケアを考える」をテーマに5題の講演と討議が行われた。

5) 第56回全国学校保健・学校医大会

令和7年11月22日、横浜市において、「子どもたちの健康を守る～生まれてから成人まで～」をテーマに神奈川県医師会の担当で開催され、清水会長、松田常任理事が出席した。午前に5つの分科会「からだ・こころ(1～3)」「耳鼻咽喉科」「眼科」が行われ、午後は開会式・表彰式に引き続き、講演6題および特別講演が行われた。詳細は、会報第847号に掲載した。

6) 全国学校保健・学校医大会「都道府県医師会連絡会議」

令和7年11月22日、横浜市において開催され、松田常任理事が出席した。次期担当県が愛知県医師会に決定した。令和8年11月21日(土)名古屋市において開催予定である。

7) 中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡協議会(第4分科会 学校保健・母子保健)

令和7年9月27日、山口市において開催され、辻田副会長・岡田・松田両常任理事が出席した。日医より渡辺常任理事をコメンテーターに迎え、学校保健と母子保健の2つのセッションに分けて意見交換が行われた。詳細は、会報第845号に掲載した。

8) 中国地区学校保健・学校医大会

令和7年8月24日、山口市において山口県医師会の担当により開催され、松田常任理事が出席した。中国地区各県医師会からの研究発表と特別講演2題、(1)子どもの心身の発達に本当に大切な睡眠(講師:瀬川記念小児神経学クリニック理事長 星野恭子先生)、(2)学校保健の課題と対応(講師:日医常任理事 渡辺弘司先生)が行われた。大会の終盤には会長代理として次期当番県挨拶を述べた。詳細は、会報第843号に掲載した。

9) 中国地区学校保健研究協議大会

令和7年8月21日、山口市において開催され、清水会長(県学校保健会長)が大会の冒頭に次期開催県を代表して挨拶を述べた。

10) 中国地区学校保健研究協議大会実行委員会設立総会及び実行委員会

令和8年2月26日、県医師会館において開催され、松田常任理事が出席した。設立総会には清水会長(県学校保健会長)も出席した。議事として、(1)第70回中国地区学校保健研究協議大会実行委員会会則案、(2)第70回中国地区学校保健研究協議大会実行委員会委員案について協議が行われた。続いて開催された実行委員会では、設立総会で選任された委員により、議事として、第70回中国地区学校保健研究協議大会開催要項、役員案、事業計画案、予算案について協議が行われ、いずれも原案どおり承認された。大会は、令和8年8月20日(木)とりぎん文

化会館において開催される。

11) 日本スポーツ振興センター災害共済給付事業運営協議会

令和7年10月9日、県医師会館において開催され、瀬川副会長が出席した。議事として、(1) 災害共済給付の歴史及び制度概略、(2) 令和6年度事業報告及び令和7年度の取組等、(3) 地域の関係団体との連携による災害共済給付制度周知及び事故防止情報提供充実について報告があった後、デジタル社会で目指す災害共済給付事業の姿と今後の運営への期待について協議が行われた。

12) 学校検尿対策委員会

令和8年3月18日、テレビ会議で開催した。議事として、(1) 令和7年度学校検尿検査結果、(2) 初年度の県立高校生徒の学校検尿陽性者事後措置の取り扱い、(3) 私立・国立高等学校の各地区の参加状況、(4) 集計表の修正について報告があった後、(1) 令和8年度以降の県立高校における学校検尿事後措置ガイドラインの運用、(2) 学校検尿事後措置のガイドライン（高校生用）の一部修正、(3) 腎臓内科・糖尿病内科医の委員選出、(4) 医師向け研修会開催の必要性などについて協議を行った。詳細は、会報第850号に掲載した。

13) 全国高等学校総合体育大会鳥取県実行委員会総会

令和7年4月22日、県庁において開催され、清水会長が出席した。議事として、(1) 令和6年度事業報告並びに収支決算及び監査報告、(2) 令和7年度事業計画案及び収支予算案について報告、協議が行われた。

14) 鳥取県医師会指定学校医制度

平成27年度より開始した本制度であるが、令和3年度以降、3年毎に更新時期を統一することとしている。更新要件を満たしている医師を、令和7年度より新たに3年間の自動更新とした。

15) 鳥取県学校保健会

(1) 鳥取県学校保健会定例理事会

令和7年6月19日、県医師会館においてハイブリッドで開催され、県学校保健会長として清水会長が出席した。議事として、(1) 役員選出、(2) 令和6年度事業報告、(3) 令和6年度収支決算、(4) 令和7年度事業計画案、(5) 令和7年度収支予算案、(6) 第70回中国地区学校保健研究協議大会の開催について審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。また、(1) 各部会（保健体育主事部会、養護教諭部会）の事業及び会計報告、(2) 鳥取県学校保健会学校保健及び学校安全表彰について報告があった。

(2) 学校医・園医部会運営委員会

令和7年10月2日、テレビ会議で開催した。議事として、(1) 令和6年度学校医・園医部会事業、(2) 令和7年度中国四国医師会連合学校保健担当理事連絡協議会、(3) 令和7年度中国地区学校保健・学校医大会、(4) 第56回全国学校保健・学校医大会、(5) 令和7年度学校医・園医研修会、(6) 鳥取県医師会・鳥取県教育委員会連絡協議会などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第845号に掲載した。

(3) 鳥取県学校保健会学校保健及び学校安全表彰審査会

清水会長（県学校保健会長）以下10名の審査員による審査（書面議決）により全員の承認を得たことから、推薦があった個人14名（学校医5名＜東部3名、中部2名＞、学校歯科医2名、

学校薬剤師4名、養護教諭3名)と1団体を被表彰者として決定した。

(4) 鳥取県学校保健会学校保健及び学校安全表彰式

令和8年1月25日、倉吉未来中心において開催予定であったが、大雪のため、中止になった。

(5) 新規採用養護教諭研修への講師派遣

令和7年9月4日、エースパック未来中心において開催された研修会の講師として岡本 賢先生(中部医師会員)を推薦した。

12 健康スポーツ医対策

1) 日本医師会認定健康スポーツ医

平成3年度より発足した日本医師会認定健康スポーツ医は、令和8年3月末現在45名である。令和7年度の新規申請者は0名、更新申請者は8名(東部2名、中部2名、西部3名、大学1名)であった。

2) 健康スポーツ医委員会

令和7年4月17日、Webで開催した。議事として、(1)鳥取県の近況、(2)再研修会の開催について報告、協議を行った後、(3)今後の健康スポーツ医単位の管理等はMAMISで行うことになったことについて報告があった。詳細は、会報第839号に掲載した。

3) 日本医師会健康スポーツ医学講習会

〔日本医師会主催〕日本医師会Web研修システムにて開催

前期：令和7年10月25日・26日 後期：令和7年11月29日・30日

その他、日本体育協会公認スポーツドクター養成講習会受講者の推薦依頼があったので、受講希望のあった会員を報告した。

4) 日本医師会健康スポーツ医学再研修会

(1) 第45回東部医師会健康スポーツ医学講演会(1単位)

日 時 令和7年6月25日

場 所 東部医師会館 鳥取市富安

出席者 16名(県内16名)

内 容 (1)熱中症の基本と勘違いについて

鳥取大学医学部附属病院救急科講師 生越智文 先生

(2) 令和7年度鳥取県医学会(1単位)

日 時 令和7年7月20日

場 所 鳥取県医師会館 鳥取市戎町

出席者 20名(県内20名)

内 容 (1)小児スポーツを巡るハラスメントー褒めて伸ばす魔法の言葉ー

鳥取大学医学部附属病院小児科講師

日本スポーツ協会公認スポーツドクター 美野陽一 先生

13 産業保健対策

1) 日本医師会認定産業医

平成2年度に発足した「日本医師会認定産業医制度」による認定産業医は、令和8年3月末現在328名（東部127名、中部53名、西部141名、鳥大7名）である。また、令和7年度の新規申請者は9名（東部5名、中部1名、西部2名、鳥大1名）、更新申請者は49名（東部16名、中部5名、西部27名、コロナ特例1名）であった。

2) 産業医部会運営委員会

令和7年4月3日、鳥取労働局、鳥取産保総合支援センターに参集いただき、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画案、(2)鳥取産保総合支援センター事業、(3)令和7年度の産業保健事業（鳥取労働局）などについて協議を行った。詳細は、会報第839号に掲載した。令和7年度の産業医研修会の基本テーマは、「法改正」「ハラスメント対策」「熱中症対策」「女性の健康管理」「LGBTQ+対応」「腰痛」「健診データ」とした。また、今後のテーマ案として、「医師の働き方改革」「高齢就労者の健康管理」などの提案があった。

3) 全国医師会産業医部会連絡協議会

令和7年7月3日、日医会館においてハイブリッドで開催され、秋藤常任理事、福嶋理事、後藤東部医師会理事、門脇中部医師会理事、小林西部医師会理事が出席した。「メンタルヘルス対応能力向上のための産業医支援」をテーマに、厚生労働省からの中央情勢報告、シンポジウム、佐賀県医師会からの事例報告、協議が行われた。詳細は、会報第842号に掲載した。

4) 第46回産業保健活動推進全国会議

令和7年10月23日、日医会館においてハイブリットで開催され、福嶋理事が現地で出席し、地区医師会からは担当理事がWebで出席した。松本日医会長の挨拶の後、中央情勢報告、産業保健総合支援事業に関する活動事例報告、シンポジウム、産業医需要供給実態調査事業に関する報告、最後に質疑応答が行われた。詳細は、会報第846号に掲載した。

5) 産業医研修会

基礎研修（実地1単位・後期4単位） & 生涯研修（更新1単位・実地1単位・専門3単位）

(1) 日 時 令和7年7月6日（日）正午～午後5時15分

場 所 とりぎん文化会館 鳥取市尚徳町

出席者 102名 [認定産業医98名、未認定産業医4名]

内 容 (1) 改正労働安全衛生法等について

鳥取労働局労働基準部健康安全課 丹生伸英 課長

(2) 職場の熱中症対策

鳥取県福祉保健部参事 大谷眞二 先生

(3) 作業環境測定の留意点について

日本労働安全コンサルタント会鳥取支部 高野雅弘 支部長

田中安全衛生コンサルタント事務所代表 田中 誠 氏

(4) 職場の健診データを活用したリスク評価法

鳥取産業保健総合支援センター相談員（産業医学担当） 村田勝敬 先生

(5) 働く女性の産業保健

鳥取県医師会常任理事 秋藤洋一 先生

8) 鳥取県地域両立支援推進チーム会議

令和7年8月29日、鳥取労働局においてハイブリッドで開催され、秋藤常任理事が出席した。議事として、(1)治療と仕事の両立支援に関する取組状況について参加団体から報告があった後、(2)令和7年度の取組み状況について労働局から報告があった。なお、労働局が県内の事業所を対象に実施したアンケートによると、治療と仕事の両立支援制度の認知度は3割程度であり、依然として低調であるとのことであった。

9) 鳥取産業保健総合支援センター運営協議会・全体会議

<運営協議会>

令和7年10月9日、県医師会館において開催され、清水会長、秋藤常任理事が出席した。清水会長が運営協議会長に選任された後、議事として、令和7年度事業実施状況などについて報告が行われた。

<全体会議>

令和7年4月10日、テレビ会議で開催され、清水会長（運営協議会長）、秋藤常任理事が出席した。議事として、令和6年度事業実施状況及び令和7年度事業予定について報告、協議が行われた。

10) 鳥取産業保健総合支援センター主催の研修会

センター主催、県医師会共催による産業医研修会を下記のとおり開催した。本会から日医認定産業医制度指定研修会として申請し、承認を受けた。

産業保健研修会（生涯研修・専門：各1単位）

日時 令和7年7月13日（日）午後1時30分～午後3時30分

場所 新日本海新聞社 鳥取市富安

出席者 認定産業医6名

内容 (1) 働き方改革について

鳥取県医療勤務環境改善支援センター

医療労務管理アドバイザー 西山理一 氏

(2) 医師による長時間労働の面接指導について

鳥取産業保健総合支援センター 産業保健相談員 松浦喜房 先生

産業保健研修会（生涯研修・専門：各1単位）

日時 令和7年7月24日（月）午後1時30分～午後3時30分

場所 米子コンベンションセンター 米子市末広町

出席者 認定産業医10名

内容 (1) 働き方改革について

鳥取県医療勤務環境改善支援センター

医療労務管理アドバイザー 西山理一 氏

(2) 医師による長時間労働の面接指導について

鳥取産業保健総合支援センター 産業保健相談員 黒沢洋一 先生

産業保健研修会（生涯研修・専門：2単位）

日 時 令和7年9月28日（日）午後1時30分～午後3時30分
場 所 新日本海新聞本社 鳥取市富安
出席者 認定産業医9名
内 容 石綿関連疾患診断技術研修基礎研修 岡山水清会病院長 岸本卓巳 先生

産業保健研修会（生涯研修・専門：2単位）

日 時 令和7年11月13日（木）午後1時30分～午後3時30分
場 所 鳥取市役所本庁舎 鳥取市幸町
出席者 認定産業医5名
内 容 治療と仕事の両立支援制度の現状と課題
中国労災病院治療就労両立支援センター所長 豊田章宏 先生

産業保健研修会（生涯研修・専門：各1単位）

日 時 令和7年12月18日（木）午後1時35分～午後3時40分
場 所 米子コンベンションセンター 米子市末広町
出席者 認定産業医11名
内 容 (1)職場のメンタルヘルス対策における産業医の役割、留意点等について
鳥取大学医学部環境予防医学分野助教 桑原祐樹 先生
(2)治療と仕事の両立支援 ～メンタル・フィジカルの両面から～
鳥取大学医学部健康政策医学分野教授 森田明美 先生

11) 第50回鳥取県産業安全衛生大会

令和7年10月28日、とりぎん文化会館において鳥取県労働基準協会並びに本会等の主催で開催され、清水会長が出席した。大会席上、永年産業医功労により谷口昌弘先生、山本 尚先生に鳥取県医師会長表彰を授与した。

9. 保険医療の充実に関する事項

1 医療保険制度対策

1) 鳥取県後期高齢者医療広域連合への協力

「服薬情報通知事業」「ジェネリック医薬品差額通知事業」について本会宛に周知依頼があった。会報第 843 号に掲載し会員へ周知した。

2) 鳥取県後期高齢者医療懇話会

令和 7 年 8 月 8 日、湯梨浜町中央公民館において開催され、野口理事が出席した。議事として、(1)会長、副会長の選出、(2)令和 6 年度後期高齢者医療制度の実施状況、(3)令和 7 年度鳥取県後期高齢者医療広域連合事業計画、(4)令和 7 年度鳥取県高齢者健康づくり推進大会について報告、協議が行われた。会議概要は、鳥取県後期高齢者医療広域連合事務局ホームページに掲載された。

3) 鳥取県医療費適正化計画策定評価委員会

- (1) 令和 7 年 1 2 月 2 3 日、県庁において開催され、來間理事が W e b 出席した。議事として、第三期鳥取県医療費適正化計画の実績評価について協議が行われた。
- (2) 令和 8 年 2 月 9 日、県庁において開催され、來間理事が W e b 出席した。議事として、(1)委員長の選出、(2)第四期鳥取県医療費適正化計画の進捗状況、(3)第四期鳥取県医療費適正化計画の見直しについて協議が行われた。

4) 鳥取県が実施する重複・多剤対策事業への協力

県医療・保険課では、重複・多剤服用者（対象：市町村国保被保険者）に服薬情報通知を行い、医療機関又は薬局に相談するよう促している。患者から服薬状況等の相談があった際には、服薬状況の確認や適切な処方・調剤・指導等の対応をお願いする。また、対象者が「アンケートはがき」を持参の上、相談された際は、「アンケートはがき」への記入・投函又は W e b による回答をお願いする。詳細は、会報第 844 号に掲載した。

5) 鳥取県特定健診受診率向上支援事業への協力

県医療・保険課では、市町村国保被保険者に特定健診の受診勧奨通知の送付や県による新聞広告を活用した啓発活動などを行い、特定健診受診率の向上に取り組んでいる。本会宛に医療機関受診時に特定健診の勧奨等の協力をお願いしたいとの依頼があった。詳細は、会報第 844 号に掲載した。

6) 鳥取県国民健康保険運営協議会

令和 8 年 1 月 8 日、県庁において開催され、皆川幸久先生（東部医師会員）が出席した。議事として、(1)令和 8 年度納付金の算定方法、(2)医療費通知の見直しに伴う第 3 期鳥取県国民健康保険運営方針の改定などについて協議が行われた。

2 医療保険対策

1) 医療保険委員会

令和7年11月27日、県医師会館において開催した。全医療機関を対象として行った事前アンケートで寄せられた11件の「支払基金および国保連合会の審査に対する要望事項」についてそれぞれ回答が述べられた後、協議を行った。今回の要望事項と回答は、会報第847号「医療保険のしおり」に掲載した。詳細は、会報第846号に掲載した。

2) 中国四国医師会連合医療保険分科会

令和7年5月10日、岡山市において岡山県医師会の担当により開催され、瀬川副会長、秋藤・三上両常任理事が出席した。今回取りまとめた次期診療報酬改定に対する要望事項10項目は、久明史高知県医師会常任理事を通じて日医社会保険診療報酬検討委員会に提出した。詳細は、会報第840号に掲載した。

3) 保険医療機関指導計画打合せ

令和7年4月24日、県医師会館において開催され、清水会長、瀬川・辻田両副会長、各常任理事が出席した。議事として、(1)令和6年度指導結果、(2)指導対象保険医療機関の選定、(3)令和7年度指導計画などについて報告、協議が行われた。詳細は、会報第839号に掲載した。

4) 生活保護法による指定医療機関個別指導 県・鳥取市合同打合せ

令和7年4月24日、県医師会館において開催され、清水会長、瀬川・辻田両副会長、各常任理事、尾崎東部医師会副会長が出席した。議事として、(1)令和6年度実施結果、(2)令和7年度実施計画案、(3)医療扶助の適正化等について報告、協議が行われた。詳細は、会報第839号に掲載した。

5) 都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会

令和8年3月26日、Webで開催され、瀬川副会長、三上・秋藤両常任理事が出席した。松本日医会長の挨拶の後、担当理事から令和8年6月に実施される診療報酬改定の内容について説明があった。当日の説明資料のほか、解説音声付きスライド（概要版・全体版）、改定診療報酬点数表参考資料、関係省令・告示等は、日医ホームページ（メンバーズルーム）に掲載された。詳細は、会報第850号に掲載した。

6) 中国地方社会保険医療協議会総会

令和7年9月26日、中国四国厚生局鳥取事務所においてハイブリッドで開催され、清水会長が出席した。議事として、保険医療機関の指定の取消し及び保険医の登録の取消しについて協議が行われた。

7) 指導・監査等の立会い

各地区で実施された指導に役員が立会い、理事会で内容を報告し、概略を会報に掲載した。

[特定共同指導]

令和7年 9月25日<西部1医療機関>：福嶋理事、服岡監事

令和7年 9月26日<西部1医療機関>：秋藤常任理事

[健保 新規個別指導]

令和7年 5月29日<東部1医療機関>：岡田常任理事

令和7年11月 6日<西部1医療機関>：來間理事

令和7年12月11日<西部1医療機関>：辻田副会長

令和8年 1月29日<西部1医療機関>：山崎理事

[健保 個別指導]

令和7年 6月12日<東部1医療機関>：池田常任理事

令和7年 7月17日<西部1医療機関>：三上常任理事

令和7年 8月 7日<東部1医療機関>：瀬川副会長

令和7年10月30日<中部1医療機関>：野口理事

令和7年11月27日<西部1医療機関>：服岡監事

令和8年 2月12日<西部2医療機関>：三上常任理事

8) 日本医師会社会保険指導者講習会

令和7年10月26日、日医会館において開催され、秋藤常任理事が出席した。幅広く最新の医学の話題を学ぶことを目的に、2024年度に発行された日医雑誌通常号の特集企画の中から生涯教育講演として「CKD対策」「アトピー性皮膚炎」「睡眠障害」の3つのテーマによる講演の後、厚生労働省より「2040年を展望した医療について」「令和8年度診療報酬改定に向けた課題と展望」の2講演が行われた。

3 介護保険対策

1) 第9期鳥取県介護保険事業支援計画・老人福祉計画策定・推進委員会

令和8年2月16日、ホテルセントパレス倉吉において開催された。議事として、(1)第9期計画における評価指標の達成状況、(2)第10期介護保険事業（支援）計画策定にあたってのポイント等について報告があった後、意見交換が行われた。

4 労災保険対策

1) 労災診療費算定実務研修会

令和7年11月13日、鳥取労働局、労災保険情報センター、本会との共催によりWebで開催した。会報第842号及び843号に掲載し会員に周知した。

2) 都道府県医師会自賠責保険担当理事連絡協議会

令和7年11月28日、Webで開催され、山崎理事が出席した。議事として、(1)自賠責診療報酬基準のアンケート調査結果及び今後の対応指針、(2)三者協議会の運営改善について説明があった後、質疑応答、総括が行われた。詳細は、会報第846号に掲載した。

5 個人情報保護法

改正個人情報保護法が平成29年5月30日に施行されたことにより、本会個人情報保護方針等及び会員個人情報の種類と利用目的を本会ホームページに公表している。

6 医療保険関係団体との連絡調整

毎月1回開催される「中国地方社会保険医療協議会鳥取部会」に清水会長が出席し、保険医療機関及び保険薬局の指定について協議を行った。

毎月1回開催される「支払基金鳥取支部審査運営協議会」に清水会長が出席し、審査運営に関して必要な事項を協議するとともに、審査事務センターの運営に関して意見を述べた。

7 国民のための医療推進対策

1) 国民医療を守るための総決起大会

令和7年11月20日、日医会館において46道府県医師会をつなぐWeb会議で開催され、清水会長、瀬川副会長、池田常任理事が出席した。鳥取会場には鳥取県国民医療推進協議会総会参加団体から20団体の代表者および関係者約60名が参集し、日医会館から配信されるライブ映像を視聴した。大会は、国民医療推進協議会長である松本日医会長（代読：茂松日医副会長）と尾崎東京都医師会長の挨拶、来賓挨拶、趣旨説明と続き、関係団体および各地区代表による決意表明が行われた。その後、平川日本精神科病院副会長が決議案を提案し、満場の拍手をもって採択された。最後に角田日医副会長による「頑張ろうコール」が行われ大会は終了した。詳細は、会報第846号に掲載した。

10. 医事法規の整備に関する事項

1 母体保護法対策

1) 母体保護法指定医師審査委員会

令和8年2月5日、Webで開催した。議事として、(1)研修症例実施報告書の人工妊娠中絶手術の週数について協議を行った。詳細は、会報第849号に掲載した。

2) 母体保護法指定医師研修会（専門医共通講習会）

令和7年10月26日、西部医師会館において開催した。講演4題、(1)新たな局面を迎えて母体保護法指定医師として考えること～緊急避妊薬の意義と普及を再考する～（講師：県医師会母体保護法指定医師審査委員会 周防加奈委員）、(2)経口中絶薬の現状と指定医師必携・人工妊娠中絶実施報告票の改訂のポイントなど（講師：同明島亮二委員）、(3)臨床倫理の歴史（講師：同高橋弘幸委員）、(4)症例から学ぶ安心・安全な医療への取り組み（講師：同岩部富夫委員）【専門共通講習—医療安全：1単位】を行った。

3) 日本医師会家族計画・母体保護法指導者講習会

令和7年12月6日、日医会館において開催され、県立厚生病院産科婦人科部長 周防加奈先生が出席した。

4) 緊急避妊薬を販売する薬局・店舗販売業の店舗における近隣の産婦人科医等との連携体制の構築

連携体制の構築にあたり、県薬剤師会が取りまとめる「緊急避妊薬販売薬局名簿」と本会が取りまとめる「連携医療機関名簿」とを相互に共有した。本会の名簿の提出に際しては、事前に母体保護法指定医師の承諾を得た。

11. 医療施設の整備に関する事項

1 医療提供体制の確保対策

1) 鳥取県医療審議会

- (1) 令和7年12月25日、テレビ会議で開催され、清水会長（審議会長）、池田常任理事が出席した。議事として、(1)令和8年度鳥取県地域医療介護総合確保基金（医療分）、(2)病床機能再編支援事業、(3)へき地医療拠点病院の指定、(4)鳥取大学医学部附属病院の病床の種別変更について協議が行われた。また、(1)地域医療構想、(2)かかりつけ医機能報告制度、(3)鳥取大学医学部附属病院の再整備、(4)医療法人部会の審議結果、(5)地域医療支援病院の令和6年業務報告、(6)令和8年度医学部臨時定員、(7)地域枠「とっとり医療人養成枠」の報告、(8)医薬品医療機器等法に基づく特定の機能を有する薬局の認定状況、(9)令和7年度厚生労働省補正予算案などについて報告があった。
- (2) 令和8年3月26日、テレビ会議で開催され、清水会長（審議会長）、池田常任理事が出席した。議事として、令和8年度鳥取県地域医療介護総合確保基金（医療分）に協議が行われた。また、(1)医療法人部会の審議結果、(2)へき地医療拠点病院の指定（済生会境港総合病院）、(3)第8次鳥取県保健医療計画の達成状況、(4)令和8年度県派遣医師の配置、(5)令和9年度医学部臨時定員に係る増員申請方針案、(6)重点医師偏在対策支援区域の設定、(7)鳥大医学部附属病院の病床の種別変更、(8)新たな地域医療構想、(9)第8次鳥取県保健医療計画の中間見直し、(10)令和8年度厚労省補正予算「病床数適正化支援事業」について報告があった。

2) 鳥取県医療審議会医療法人部会

- (1) 令和7年7月24日、県庁において開催され、池田常任理事（部会長）が出席した。議事として、医療法人の設立認可1件と解散認可3件について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。また、報告事項として、非医師の理事長就任認可案件に係る状況報告があった。
- (2) 令和7年11月6日、県庁において開催され、池田常任理事が出席した。議事として、医療法人の設立認可申請1件と解散認可申請2件について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。
- (3) 予定されていた令和8年1月22日の開催は、大雪の影響により書面開催とされた。池田常任理事が、医療法人の設立認可2件と解散認可1件に関する議事は、いずれも「問題なし」として答申した。

3) 鳥取県立病院運営評議会

令和7年8月5日、県庁において開催され、清水会長（評議会長）が出席した。議事として、(1)一般会計からの令和6年度交付金繰入状況、(2)経営強化プランの令和6年度進捗状況及び評価、(3)令和7年度における県立病院の主なトピックスなどについて協議が行われた。

4) 医師偏在是正に向けた全国広域マッチング事業説明会

令和7年8月28日、Webで開催され、永島常任理事、福嶋・山田両理事が出席した。松岡日医常任理事より、全国広域マッチング事業の運営案について説明があった後、都道府県医師会及び自治体より事前に寄せられた質問やWebからの関連質問について照会・回答が行われた。詳細は、会報第844号に掲載した。

12. 医業経営の安定、会員の福祉向上による 国民の健康及び福祉の増進に関する事項

1 医事紛争対策

1) 第73回医事紛争処理委員会

令和7年5月15日付けで書面開催した。県内の医事紛争の状況について、新規受付件数、解決した件数、未解決件数等について報告があった。

2) 中国四国医師会連合医事紛争研究会

令和7年11月3日、岡山市において山口県医師会の担当により開催され、清水会長、秋藤常任理事、野口顧問弁護士が出席した。濱口日医常任理事の挨拶に続き、各県医師会から提出された11議題および日医への要望・提言4題について協議が行われた。詳細は、会報第846号に掲載した。

3) 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会

令和7年12月4日、日医会館においてハイブリッドで開催され、瀬川副会長、秋藤常任理事が出席した。日医医賠償保険の運営に関する経過報告が行われた後、講演2題(1)広島県医師会での取り組み事例(石川暢恒広島県医師会常任理事)、(2)採血時の神経損傷(三上容司医賠償調査委員会委員・横浜労災病院長)が行われ、続けて事務局からの連絡事項、都道府県医師会からの質問・要望等に対する回答があった。

2 看護職員対策の連携強化

1) 医師会立看護師等養成所会議(都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会)

令和7年5月16日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。議事として、(1)医師会立看護学校の存亡、(2)看護学校におけるパワハラ問題、(3)医師会立看護師等養成所の事例報告、(4)福井県「看護師等学生確保重点支援事業」について発表があった後、協議が行われた。

2) 東部医師会立鳥取看護高等専修学校卒業式・閉校式

令和8年3月1日、鳥取看護高等専修学校において卒業式が挙行政され、会長代理として瀬川副会長が祝辞を述べた。本会からは優良生1名に対し、会長表彰として表彰状と記念品を贈呈した(卒業生3名)。その後、同会場において閉校式が挙行政され、瀬川副会長が来賓挨拶を述べた。県福祉保健部長をはじめ歴代校長および歴代役職員らが出席し盛会であった。

3) 鳥取県准看護師試験委員会

令和8年3月5日、Webで開催され、門脇義郎先生(中部医師会員)が出席した。議事として、(1)令和7年度准看護師試験の実施結果について報告があった後、(1)合否判定、(2)令和8年度鳥取県准看護師試験について協議が行われた。

4) 鳥取県ナースセンター事業運営協議会

令和8年2月26日、Webで開催され、岡田常任理事が出席した。議事として、(1)令和7年度ナースセンター事業、(2)令和7年度鳥取県ナースセンター事業実績、(3)鳥取県内の看護職員の状況等、(4)令和8年度鳥取県ナースセンター事業案、(5)令和7年度鳥取県看護職員就職オンラインガイダンスなどについて報告、協議が行われた。

3 勤務医、病院対策

1) 鳥取県病院協会定期総会及び管理部会等

令和7年5月22日、ホテルセントパレス倉吉において開催された（担当：山陰労災病院）。議事として、(1)令和6年度事業報告・決算、(2)令和7年度事業計画・予算について審議が行われ、承認された。その後、講演「今後の病院経営の方向性と課題への対応～経営安定化に向けた人材確保定着と病床適正規模の検討～」が行われた。

2) 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

令和7年5月23日、日医会館においてハイブリッドで開催され、永島常任理事、渡辺顧問（日医勤務医委員会副委員長）が現地で出席した。全国医師会勤務医部会連絡協議会について令和6年度担当の福岡県医師会から実施報告が行われ、続いて令和7年度担当の岩手県医師会から今年度の開催内容等について説明が行われた。協議では、(1)医師偏在対策（今村日医常任理事）、(2)医師会と大学との協働（猪股大分大学医学部医師会長）の講演の後、質疑応答が行われた。詳細は、会報第841号に掲載した。

3) 全国医師会勤務医部会連絡協議会

令和7年11月8日、盛岡市において「勤務医が生き生きと活躍できる場を作る～混沌を成長の機会に～」をメインテーマに岩手県医師会の担当で開催され、清水会長、渡辺顧問（日医勤務医委員会副委員長）、山田理事が出席した。特別講演3題のほか、日医勤務医委員会報告、シンポジウムが行われ、最後に「いわて宣言」が採択された。詳細は、会報第846号に掲載した。

4) 都道府県医師会組織強化担当役員連絡協議会

令和7年10月8日、日医会館において開催され、山田理事、事務局がWebで出席した。議事として、「継続的な組織強化に向けて」をテーマに、「継続的な組織強化に向けて」（城守日医常任理事）、「MAMISの活用を通じた組織強化」（笹本日医常任理事）と題した説明を受けた後、都道府県医師会からの活動報告が行われた。詳細は、会報第845号に掲載した。

5) 鳥取県医療勤務環境改善支援センター

(1) 勤務環境改善に向けたトップマネジメント研修会

1) 令和7年11月5日、県医師会館において医療機関の管理者等を対象にハイブリッドで開催した。清水会長の挨拶の後、講演「離職防止と人材確保に向けて、今、取り組むこと～勤務環境の改善と職員へのアプローチ～」(講師：厚生労働省医療労務管理支援事業スーパーバイザー 新屋尋崇氏)、Q&Aを行った。参加者57名。詳細は、会報第846号に掲載した。

2) 令和8年3月17日、県医師会館においてハイブリッドで開催した。清水会長挨拶の後、講演「医療機関に求められる『賃上げへの対応策』と『生産性の向上』への取組～人材確保・育成による組織継続に向けて～」(講師：Will 人材経営コンサルティング株式会社代表取締役 谷進二氏)、Q&Aを行った。参加者51名。詳細は、会報第850号に掲載した。

(2) 労務管理セミナー

令和7年12月3日、県医師会館においてハイブリッドで開催した。令和6年4月1日から適用されている医師の時間外労働の上限規制について、鳥取労働局から「時間外・休日労働上限規制への対応についての留意点」と題して説明を行った後、鳥取県医療勤務環境改善支援センターの紹介を行った。参加者49名。詳細は、会報第846号に掲載した。

(3) 運営協議会

- 1) 令和7年7月17日、テレビ会議で開催し、清水会長（センター長）、秋藤常任理事、山田理事、瀬川副会長（オブザーバー）が出席した。議事として、(1)令和6年度センター活動報告、(2)医師の働き方改革施行後の対応状況、(3)令和7年度センター事業、(4)令和7年度労働局事業などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第842号に掲載した。
- 2) 令和8年3月3日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和7年度事業中間報告、(2)令和7年度医療機関訪問個別支援状況、(3)第12回トップマネジメント研修会開催、(4)医師の働き方改革への対応について報告があった後、令和8年度事業計画案について協議を行った。詳細は、会報第849号に掲載した。

(4) 推進委員会

- 1) 令和7年9月5日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和6年度センター活動報告、(2)医師の働き方改革施行後の対応状況、(3)令和7年度センター活動中間報告、(4)令和7年度労働局事業などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第844号に掲載した。
- 2) 令和7年12月12日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和7年度センター活動中間報告、(2)医療機関に対する個別支援の方向性などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第847号に掲載した。
- 3) 令和8年2月20日、テレビ会議で開催した。議事として、(1)令和7年度事業中間報告、(2)令和7年度医療機関訪問個別支援状況、(3)第12回トップマネジメント研修会開催、(4)医師の働き方改革への対応、(5)令和8年度事業計画（案）などについて報告、協議を行った。詳細は、会報第849号に掲載した。

(5) 鳥取県医療政策課、鳥取労働局、勤改センターの担当で三者協議

鳥取県医療政策課、鳥取労働局、勤改センターの各担当で三者協議を3回行い、勤改センターの活動計画や、勤改センターが行っている医療機関への支援状況報告や宿日直許可取得状況の情報交換を行い、医療機関が抱えている課題等について検討を行った。

(6) 厚生労働省スーパーアドバイザー事業支援

厚生労働省委託事業のスーパーバイザー支援業務として、医療労務管理スーパーバイザー新屋尋崇氏が、6月27日と9月1日に県医師会館に来館され、岡本事務局長、岩垣主任、アドバイザー（労務管理及び医業経営）、県医療政策課並びに鳥取労働局担当が参加し、当センターの体制や県、労働局の関わり等の確認、今後のセンターへの支援について情報交換を行った。第3回目の1月20日は、医療労務管理スーパーバイザー新屋尋崇氏と医業経営スーパーバイザーの眞鍋一氏が県医師会館に来館され、医療機関全体の勤務環境改善の重要性、他県事例紹介、研修会のテーマ等について意見交換を行った。

(7) 医療機関への利用勧奨

勤改センターから県内43病院及び有床診療所30医療機関を対象に、年間88件の利用勧奨を行っている。令和7年度は、県・労働局・勤改センターにより優先度の高い25病院に対し、6月に「医療機関が必要とする情報のニーズ支援アンケート」を发出して、勤改センターの利用勧奨を行い、アンケートの結果をもとに8月以降の個別訪問支援につなげた。

また、宿日直許可の取得または再取得を目指している3医療機関には取得状況を、毎月、電話で確認し利用勧奨を行った。

(8) 医療機関訪問個別の支援

県・労働局・勤改センターにより優先度の高い25病院を選定し、医療労務管理アドバイザー及び医業経営アドバイザーが個別訪問し、課題等に対して助言等を実施した。支援対象病院は、①特定労務管理対象の病院、②地域医療体制確保加算対象の病院、③地域医療介護総合確保基金対象の病院、④宿日直申請予定の病院、⑤昨年度の個別訪問支援から勤務環境改善の課題があり、継続支援が必要な病院が対象である。

支援に当たり、6月に「医療機関が必要とする情報のニーズ支援アンケート」を行い、その結果から、経営面の情報や院内研修のニーズが多く寄せられた。その中でも人材確保対策やハラスメント対策が主要な課題として挙げられた。これらの結果を踏まえて、個別支援につなげた。

また、院内研修講師派遣などの追加支援も提供した。

(結果)

- ・対象25病院のうち、24病院に個別訪問支援を延べ39回実施。

1) 「鳥取県特定労務管理対象機関」3病院

- ・「医師労働時間短縮計画」にもとづくPDCAサイクルを進めるための支援。
- ・「日本医療機関勤務環境評価センター」への更新受審にむけて、評価項目88項目の達成状況の確認と助言。

病院名	令和7年度「時短計画」及び更新評価準備状況
鳥取大学医学部 附属病院 (連携B水準)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度：A水準で運用。36協定もA水準。 ・時間外・休日労働が通算して960時間を超える恐れは依然としてある。 →評価センターには連携B水準指定で更新評価受審（令和8年6月受審予定）。 ・連携B水準適用医師が不在ではあるが、勤務間インターバルの管理及び代償休息の取り扱いについて整理をした上で、評価項目ごとの提出資料について確認を行うようアドバイザーから助言を行った。
鳥取県立中央病院 (B水準)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医師の労働時間短縮計画に関する助言 <ul style="list-style-type: none"> ・診療科によって進捗にばらつきがあり、特に救急集中治療科で短縮が進んでいない状況を確認。 ・R6年度実績を踏まえ、令和7年度「医師の労働時間短縮計画」の一部見直しと取組を強化する必要があると判断。計画修正後、県への再提出をおこなうよう助言。 2. 評価センター提出に向けた支援 <ul style="list-style-type: none"> ・B水準（2診療科＋新規1診療科追加）で更新評価受審。 ・令和8年2月の評価センターの更新に向け、医療労務管理アドバイザー3名で審査が円滑に進むよう、アドバイスやサポートを行った。申請書類の模擬審査を実施。自己評価シート及び提出書類の改善点を助言し、病院は2月末に評価センターへ資料等提出済み。
鳥取赤十字病院 (B水準)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医師の労働時間短縮計画に関する助言 <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度計画を一部見直し取組強化。 ・B水準（1診療科）で更新評価受審（令和8年4月受審予定）。 →4月の評価受審に向けて、評価基準を満たすよう自己評価シート及び提出資料について確認、改善点について助言を行った。 2. 宿日直の許可取得に向けての継続した助言。

2) 地域医療体制確保加算対象：3病院、地域医療介護総合確保基金対象：3病院

- ・長時間労働医師（720時間超え）がいる医療機関の「医師の労働時間短縮計画」の取り組み状況の確認及び改善点への支援。

（ヒアリング調査から）

各病院は働き方改革や人材確保に向けた取り組みが進められているものの、労働時間削減に向けたICTの導入や制度整備遅れ、若手医師の確保の困難さ、定年後の医師への依存傾向など、人材の偏在に関する課題が共通として見られた。自己研鑽に関する規定は未整備の病院に対しては、アドバイザーより「明文化を行うことで医師個々の判断に頼らず、組織として一貫した対応が可能となる」との助言がなされた。また、職員満足度アンケートは看護部のみに限定されている病院に対しては、日本医業コンサルタントの調査活用を提案。一方で、独自アンケートを活用し、意見の把握・分析体制が整備されている病院もあった。

さらに、医師の働き方改革に伴い、事務部職員の業務負担が増加しており、法改正・制度改正への対応時間が不足しており、特に改正育児休業法への理解不足が課題として挙げられた。

3) 地域医療維持のための支援：3病院

- ・医業経営アドバイザーと医療労務管理アドバイザーが支援。

（ヒアリング調査から）

勤怠システムの導入が進められている。一方で、派遣医師の労働時間については、日誌と出勤時間の管理のみである。自己研鑽に関する規定が未整備である等の課題が挙がっている。

さらに、内科医師、薬剤師、看護師、看護助手などの人材確保が継続課題として挙げられている。

これらの状況を踏まえ、アドバイザーからは、日本医業コンサルタントの職員満足度調査の全職種への活用の提案及びハラスメント等の院内研修の講師派遣を提案した。

4) 勤務環境改善の課題支援：12病院

（ヒアリング調査から）

多くの病院で勤怠管理システム（ICカードやアプリ等）の導入・活用が進められているが、一部では導入が遅れている、あるいは外部医師の管理が紙ベースにとどまっているなど、運用のばらつきや習熟度の差が課題として挙げられている。また、内科医師、薬剤師、看護師、看護補助者、療法士（特に作業療法士）などの人材確保が深刻な課題として挙げられており、大学からの派遣が得られない場合は民間紹介業者に依頼する病院もあった。

<まとめ>

- ・以前に比べ、病院全体で、院内での業務効率化、会議やカンファレンス、患者・家族への説明なども含めて、医師がやるべき仕事をなるべく診療時間内に収める機運が高まっている。
- ・多くの病院が新たな人材確保策、研修プログラム、時間外労働の管理改善に取り組んでいることが確認された。医師の働き方改革の広がりが見られ、短時間勤務の導入や働き方の多様化が進んでいることが確認された。
- ・地域医療への影響があったとする病院、医師の派遣引き揚げがあったとする病院はなし。特定労務対象3病院以外に新たに一般水準（960時間）超えの勤務医がいると見込まれる病院もないという状況である。
- ・また、令和7年度日本医師会による有床診療所アンケート調査でも、診療体制の縮小や医師の派遣引き揚げ等は報告されていない。

⇒現時点で医師の働き方改革に直接起因する大きな課題は表面化していないが、引き続き注視する必要がある。

<共通課題>

- ①若手医師の時間制限により、ベテラン医師へ業務が偏る。
- ②タスクシフト・シェアを推進したいが、受け手側の人材が不足している。特に看護助手等の人材確保が難しい。
- ③また、時間外労働の明確化と手当の支給により、医師の給与費が上昇、昨今の物価高騰により資材・光熱費等が上昇しており、経営が非常に厳しい。

医療機関からは、以上の共通課題が挙がっている。⇒現時点で「医師の働き方改革」に直接起因する大きな課題は表面化していないものの、引き続き注視する必要がある。

4) 医療機関からの個別相談にも対応しており、労務管理5件、講師派遣依頼10件であった。

相談内容は助成金の活用1件、宿日直の許可申請2件、医師の時間外労働時間の取り扱いに関する相談があった。

また、医療機関、産保保健関係団体等から研修の講師派遣依頼が10件あり、講師として、医療労務管理アドバイザーを派遣した。講演のテーマとしては、パワーハラスメント防止、カスタマーハラスメント対応等であった。その他、病院協会支部からは、「医療機関におけるカスタマーハラスメント対策について」、産業保健関係団体からは「医師の働き方改革について」の講演依頼があった。

(9) 県内病院の宿日直許可に係る取得状況

県内病院の宿日直許可に係る取得状況について、令和7年度支援実績と電話による確認を行った。新規で宿日直許可の申請を予定している1病院及び再取得を目指している1病院については、毎月、電話にて対応等の確認を行ったが、取得には至っていない。

- ・宿日直許可を取得している病院：38病院
- ・経営者などが宿日直業務を行っているので取得は不要と判断している病院：3病院
- ・宿日直許可に該当しないため取得しないとしている病院：1病院
- ・現在、宿日直許可取得のため準備中、申請中などの病院：1病院

(10) 勤務環境改善に関する情報提供等

- 1) 会報に労務管理に関する記事を「センター通信」として毎月掲載し、勤改センターホームページにも掲載した。ホームページには、医師の働き方改革の制度解説・最新情報や医療機関の勤務環境改善に役立つ情報等を掲載し提供している。また、メールマガジンも毎月1回発行している。
- 2) 当センターの利用を促進するため、リーフレットを1,000部作成し、県下全医療機関等関係先に配布するとともに、会報にも掲載した。
- 3) 厚生労働省作成の「医師の働き方改革普及啓発用ポスター・リーフレットを、鳥取県医師会報12月号と一緒に鳥取県医師会会員へ送付した他、各地区医師会等関係機関に送付した。(1,500部)
- 4) センター周知のための広報ツールとして、センター名と連絡先の入ったクリアファイル(1,000部作成し、医療機関訪問や資料送付で渡すほか、研修会等の受講者等に配布した。

(11) 医師働き方改革と地域医療への影響に関する日本医師会調査(制度開始後調査)

日本医師会は、令和6年4月からの改正医療法施行から1年経過し、令和7年4月以降における医療機関及び地域医療への影響を把握するため、8月に全病院及び有床診療所13,264施設を対象にアンケート調査を実施した。県内の医療機関に対して、本会と鳥取県医療勤務環境改善支援

センターとの連名により調査協力依頼を行った。

調査の結果 3,843 施設から回答（回答率 29.0%）であった。その結果、自院や地域の医療提供体制における影響については、「前回調査の状況よりも一部の項目で増加しているものの、現時点においては全体的に大きな影響は出ていないように見受けられる」としつつ、自院における「医師の引き揚げ」「宿日直応援医師の派遣制限」による影響は将来的な派遣医師の引き揚げが自院の医療提供体制にどのような影響を及ぼすか、引き続き調査していくとの考えが示された。

加えて、自院の医療提供体制における影響の要因には、「医師の働き方改革」の他に「医師偏在（医師の不足等）」や「地域医療構想（医療機関の機能分化・連携等）」もあると考えられ、どの要因による影響が一番色濃く出ているかは医療機関の実情に応じて異なるものであると推測されるとし、「今後の調査では、医師の働き方改革による影響がどの程度あるのか、医師偏在や地域医療構想の要因を含めて何が最も大きく影響しているのかについて、分析できる調査が可能であるかどうか検討していきたい」との考えが示された。

(12) 医療労務管理アドバイザー研修会

勤改センターが委嘱しているアドバイザー（医業経営及び医療労務管理）22人を対象に、医療機関の勤務環境改善支援に関する研修会を5月30日に「倉吉交流プラザ」にて開催し、関係者18人が参加した。当センターの西山医療労務管理アドバイザーから医師の働きかた改革の概要説明に続き、県医療政策課からは医療法の改正に伴う施行通達の解説及び病院個別訪問支援について説明があった。

(13) 厚生労働省主催アドバイザー研修会

下記のとおりWebで4回開催され、アドバイザー（医業経営及び医療労務管理）、岩垣主任が県医師会館等にて視聴した。

1) 令和7年4月22日

- (1) 令和7年度勤改センターのアドバイザーに主に取り組んでいただきたい内容について、
- (2) 令和7年度医療勤務環境改善支援について、(3) 医療機関への支援実績に基づく勤務環境改善の取組事例、(4) 看護師の勤務環境改善に向けた支援について説明があった。参加者23名。

2) 令和7年8月1日常駐型アドバイザー責任者向け研修

厚生労働省から常勤型責任者業務について説明後、①北海道（委託型）における取組事例、②茨城県（直営型）における取組事例の講演があった。2講演を踏まえて、勤改センターの運営について、8グループに分かれて討論。討論終了後、グループディスカッションの発表があった。参加者3名。

3) 令和7年11月9日ベーシック編

(1) 医療機関における対話のテクノロジー：鹿児島県、(2) 個別訪問・継続支援に向けての取組：大阪府、(3) 個別訪問支援における工夫と心がけ：愛知県、(4) 個別訪問支援の取組状況と記録について：千葉県、各演者から講演があった後、講演の内容を踏まえ、利用勸奨から初回訪問につなげるための話術、1回の訪問でおわらせないコツをテーマにパネルディスカッションがあった。参加者9名。

4) 令和7年12月5日アドバンス編

(1) 医療労務管理アドバイザーが知って得する医業経営の知識、(2) 勤改センターによる医療機関への支援例の2講演を踏まえて、個別訪問支援における課題とその解決策（経営支援、医業経営アドバイザーとの連携などの観点も含む）について、9グループに分かれて討論。討論終了後、グループディスカッションの発表。参加者4名。

(14) 鳥取労働局主催説明会

鳥取労働局は、鳥取県、勤改センターの協力のもと、改正労基法等の内容を含む労働時間に関する法制度等の周知、理解の促進に向けた医療保健業に対する労働時間等説明会を7月29日（火）にライブ配信で行った。また、8月8日（金）、22日（金）に録画配信を行い、34医療機関が受講された。当センター所属の医療労務管理アドバイザーから、センターの活動内容紹介及び医療機関への支援内容等の説明を行った。

また、同様の説明会を11月26日（中部）、12月16日（東部）、12月17日（西部）に3会場にて開催し、18医療機関が受講された。

【主催】：鳥取労働局、鳥取県、鳥取県医療勤務環境改善支援センター（医師会）

【対象者】：病院および診療所の経営者、人事・総務担当者など

4 損害保険、生命保険の団体業務の継続

1) 日本医師会医師賠償責任保険

日本医師会医師賠償責任保険（100万～1億円補償）は、昭和48年7月から発足し、勤務会員も加入しているが、現行の日医医賠責保険でカバーできない部分について、日医A会員が任意で加入できる「日医医賠責特約保険（1億超～3億円補償）」の加入者（期間：令和7年7月1日～令和8年7月1日）は228名である。

2) 損保ジャパン医師賠償責任保険加入会員

令和8年3月末日現在、医師賠償責任保険加入会員数は472名である。

3) 生命保険加入代理店の業務

第一、日本、明治安田、大樹の5社との契約を存続し会員福祉向上に努めている。令和8年3月末日現在、各社の契約件数は次のとおりである。

第一	55件	日本	62件	明治安田	2件
グループ	323件	大樹	47件		

4) 損保ジャパン所得補償保険加入会員

令和8年3月末日現在、所得補償保険加入会員数は88名である。

5 会員福祉対策

1) 日本医師会医師年金の加入

令和8年3月末日現在、本県会員の医師年金加入者は68名、受給者は137名である。

2) 全国国民年金基金・日本医師従業員支部（旧日本医師従業員国民年金基金）

日医が設立母体となり、平成3年4月創設、同年5月15日設立認可を得て日本医師従業員国民年金基金として発足した。平成31年4月、全国国民年金基金へ統合し、全国国民年金基金日本医師従業員支部へ移行した。本県加入総数は105名である（令和8年3月末日現在）。

3) 鳥取県医療機関企業年金基金への対応

平成5年4月1日に発足した「鳥取県医療機関厚生年金基金」は、平成28年3月25日をもって解散し、平成28年4月1日に「鳥取県医療機関企業年金基金」として新たに発足した。令和8年3月末日現在の加入者数は3,636名、加入事業所は61である。

4) 会員総会

令和7年6月14日、県医師会館において開催した。白寿・米寿御祝贈呈、各種表彰授与の後、鳥取医学賞講演「鳥取県西部地区における新型コロナウイルス感染症対応の3年」（米子保健所長 藤井秀樹先生）、鳥取医学雑誌新人優秀論文賞講演「抗プロラクチン療法にて良好な転帰を辿った周産期心筋症の1例」（山陰労災病院循環器内科 利川太昌先生）、特別講演「日本医師会の医療政策」（松本吉郎日医会長）を行った。詳細は、会報第841号に掲載した。

5) 物故会員について

令和7年4月1日から令和8年3月末日までの間に物故された会員は、次のとおりである。

<u>岡本 博文 先生 (87歳)</u> 倉吉市 (7.5.10 逝去)	<u>清水 健治 先生 (73歳)</u> 鳥取市 (7.5.17 逝去)	<u>越智 勤 先生 (91歳)</u> 米子市 (7.7.3 逝去)
<u>柿坂 俊武 先生 (88歳)</u> 八頭町 (7.7.10 逝去)	<u>本多 一郎 先生 (91歳)</u> 倉吉市 (7.10.15 逝去)	<u>縄田 隆淑 先生 (102歳)</u> 鳥取市 (7.10.19 逝去)
<u>高田 允克 先生 (95歳)</u> 米子市 (7.11.1 逝去)	<u>佐々木 劭 先生 (83歳)</u> 米子市 (7.12.26 逝去)	<u>加藤 一吉 先生 (95歳)</u> 鳥取市 (8.1.16 逝去)
<u>縄田 昌平 先生 (90歳)</u> 鳥取市 (8.1.28 逝去)	<u>森 英俊 先生 (71歳)</u> 鳥取市 (8.3.19 逝去)	<u>中山 裕雄 先生 (66歳)</u> 八頭町 (8.3.25 逝去)
<u>中尾 徳明 先生 (98歳)</u> 米子市 (8.3.25 逝去)	<u>小林 恭一郎 先生 (66歳)</u> 鳥取市 (8.3.31 逝去)	

6) 会員表彰

本年度の「叙勲・褒章」「一般表彰」「会長表彰」等は、次のとおりであった。〈敬称略〉

1. 叙位・叙勲

7. 4. 2 9 旭日双光章 野坂美仁（米子市）保健衛生功労

2. 一般表彰

厚生労働大臣表彰

7. 9. 9 谷口宗弘（倉吉市）救急医療功労者
7. 10. 2 7 岸本幸廣（米子市）国民健康保険関係功績者
7. 10. 2 9 麻木宏栄（鳥取市）支払基金関係功績者
7. 11. 2 7 竹久義明（鳥取市）介護老人保健施設事業功労者
8. 2. 2 4 松田 隆（倉吉市）公衆衛生事業功労者

文部科学大臣表彰

7. 11. 2 0 潮 晴美（西伯郡）学校保健功労者

日本公衆衛生協会会長表彰

8. 2. 2 4 加藤達生（鳥取市）公衆衛生事業功労者
〃 岡田耕一郎（東伯郡） 〃
〃 小林 哲（境港市） 〃
〃 長井 大（鳥取市） 〃

読売新聞医療功労表彰

8. 1. 2 0 加藤達生（鳥取市） 中国地方医療功労賞
" 尾崎隆之（岩美郡） "

厚生労働省労働基準局長表彰

7. 1 1. 2 3 福谷幸二（米子市） 労働基準行政関係功労者

鳥取労働局長表彰

8. 1. 6 岡田浩子（鳥取市） 労働基準行政関係功労者

鳥取県知事表彰

7. 9. 9 瀬川謙一（八頭郡） がん対策従事者功労者
7. 1 1. 7 吉田泰之（岩美郡） 救急医療功労者
7. 1 0. 1 6 來間美帆（境港市） "
7. 1 1. 2 0 服岡泰司（境港市） 結核予防事業功労者

鳥取県教育委員会表彰（学校保健功労者）

7. 1 1. 1 9 石谷暢男（鳥取市） 松田 隆（倉吉市）

鳥取県学校保健会長表彰（学校保健功労者）

8. 1. 2 5 伊藤久太郎（鳥取市） 宮本二郎（鳥取市） 八田史郎（鳥取市）
鳥飼高嗣（倉吉市） 松井博美（米子市）

鳥取県国民健康保険団体連合会理事長表彰

7. 7. 2 2 岸本幸廣（米子市） 永年審査委員
7. 7. 2 2 福嶋寛子（倉吉市） 永年審査委員
7. 7. 2 2 青木哲哉（琴浦町） 永年審査委員

鳥取県保健事業団理事長感謝状

7. 9. 9 岡田克夫（鳥取市） 対がん事業功労者
7. 9. 9 山本光信（鳥取市） 結核予防事業功労者

3. 鳥取県医師会長表彰

7. 6. 1 4 永年役員（会員総会）
尾崎 舞（東部医師会） 明島亮二（中部医師会）
7. 6. 1 4 第34回鳥取医学賞（会員総会）
藤井秀樹（鳥取県西部総合事務所米子保健所所長）
7. 6. 1 4 第12回鳥取医学雑誌新人優秀論文賞（会員総会）
利川太章（山陰労災病院）
7. 1 0. 2 8 鳥取県産業安全衛生大会（永年産業医）
谷口昌弘（鳥取市） 山本 尚（鳥取市）

4. 長寿御祝（会員総会）

<白寿>

中尾徳明（米子市）

山本 穰（鳥取市）

入江正昭（琴浦町）

<米寿>

中久喜克子（米子市）

福嶋泰夫（倉吉市）

猪川嗣朗（米子市）

野口 誠（倉吉市）

伊達 登（鳥取市）

小田 大（鳥取市）

森田積二（米子市）

吉野保之（鳥取市）

7) 第7回全国医師ゴルフ選手権大会

令和7年5月5日、岐阜・関カントリー倶楽部において日医と全国医師協同組合連合会との共催により開催された。鳥取県医師会を代表して、西部医師会の藤瀬雅史先生と永井琢己先生が参加し、チャンピオン戦の団体戦で7位になった。大会報告は、会報第840号に掲載した。

13. 医師会相互の連絡調整に関する事項

1 日本医師会との連携強化

1) 日本医師会定例代議員会

令和7年6月22日、日医会館において開催され、清水会長、瀬川副会長が出席した。松本日医会長の挨拶に続き、令和6年度事業報告の後、議事として、「第1号議案令和6年度日本医師会決算の件」、「第2号議案令和6年度日本医師会会費賦課徴収の件」について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。その後、代議員からの代表質問19件に対し、担当役員から答弁がなされた。

2) 日本医師会臨時代議員会

- (1) 令和7年10月4日、Webで開催され、清水会長、瀬川副会長が出席した。松本日医会長の挨拶に続き、「第1号議案 日本医師会副会長補欠選任・選定の件」、「第2号議案 日本医師会理事選任の件」が一括上程され、副会長に福田稠熊本県医師会長、理事に蓮澤浩明福岡県医師会長がそれぞれ選任された。
- (2) 令和8年3月29日、日医会館において開催され、清水会長、瀬川副会長が出席した。松本日医会長の挨拶に続き、令和7年度事業計画及び予算の報告があった後、代議員からの質問19件に対して、それぞれ担当役員から答弁がなされた。また、本県から「医師国保の統合」について質問を提出した。

3) 都道府県医師会長会議

- (1) 令和7年5月20日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。都道府県医師会を6つのグループに分けたうち、Dグループ（テーマ：地域医療構想）による討議が行われ、続いて全体討議及び事前に寄せられた都道府県医師会からの質問に対して日本医師会執行部より答弁がなされた。
- (2) 令和7年10月21日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。都道府県医師会を6つのグループに分けたうち、Eグループ（テーマ：有料職業紹介事業）による討議が行われ、続いて全体討議及び事前に寄せられた都道府県医師会からの質問に対して日本医師会執行部より答弁がなされた。また、日本医師会からの中央情勢報告として「令和7年診療所の緊急経営調査」の結果について報告があった。
- (3) 令和8年1月20日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。都道府県医師会を6つのグループに分けたうち、Fグループ（テーマ：周産期医療提供体制を巡る課題と出産費用の在り方）による討議が行われ、続いて全体討議及び事前に寄せられた都道府県医師会からの質問に対し、日医執行部より答弁がなされた。

4) 日本医師会設立78周年記念式典並びに医学大会

令和7年11月1日、日医会館において開催され、清水会長が出席した。日本医師会最高優功賞18名、日本医師会優功賞57名、日本医師会医学賞4名、日本医師会医学研究奨励賞15名に対する表彰等が行われた。

5) 都道府県医師会事務局長連絡会

令和8年2月27日、日医会館においてハイブリッドで開催され、岡本事務局長、事務局担当者が出席した。松本日医会長の挨拶の後、今期で退任となる4県医師会事務局長（中四国ブロッ

クでは島根県・山口県) に対し感謝状と記念品が贈呈された。その後、講演「日本医師会ドクターバンク事業について」(講師: 日医常任理事 松岡かおり先生) が行われた。

6) 日本医師会在宅医療シンポジウム

令和8年3月1日、日医会館においてハイブリッドで開催され、三上常任理事が現地で出席した。松本日医会長の開会挨拶の後、講演「新たな地域医療構想における在宅医療及び医療・介護連携のあり方」(西嶋厚労省地域医療計画課長) が行われた。続いて、基調講演「医療的ケア児支援法から医療的ケア児・者支援法へ」(前田浩利医療法人財団はるたか会理事長)、2つのテーマによるシンポジウムが行われた。詳細は、会報第850号に掲載した。

7) その他

(1) 全国医師会事務局連絡会(しらぬい)研修会

令和7年12月20日、福岡市において、「“つながり” から紡ぐ、新—シン—時代の災害対策&DX」をテーマに開催され、山本次長、田中尚係長が出席した。シンポジウム「災害発生時どう動いたのか、発災後に何が変わった(できた)のかを知る」では、日本医師会と都道府県医師会・郡市区医師会それぞれの立場から報告があった後、「医師会事務局の組織強化」をテーマにグループディスカッションが行われた。

2 中国四国医師会連合との連携強化

1) 中国四国医師会連合常任委員会(会長会議)

- (1) 令和7年4月5日、岡山市において岡山県医師会の担当により開催され、清水会長が出席した。議事として、(1)7月の参院選かまやち候補の選挙戦術、(2)国際会議へ派遣する若手医師の推薦などについて協議が行われた。詳細は、会報第841号に掲載した。
- (2) 令和7年12月21日、山口市において山口県医師会の担当により開催され、清水会長が出席した。議事として、(1)令和7年度中国四国医師会連合関連の会議、(2)各県における学校保健会の活動、(3)診療報酬改定に向けた各県の取り組み、(4)中国四国医師会連合医療事故調査支援団体連絡協議会、(5)令和8年度国際会議へ派遣する若手医師の推薦、(6)日本医師会役員改選対応等について協議を行った。(5)では、本会が推薦した吉川侑也先生(鳥取大学医学系研究科)が書類審査の得点順により、中国四国ブロックからの推薦者に決定した。詳細は、会報第848号に掲載した。
- (3) 令和8年2月22日、岡山市において山口県医師会の担当により開催され、清水会長が出席した。議事として、(1)日本医師会役員改選対応、(2)日本学校保健会への要望、(3)令和7年度国補正予算(内閣府「重点支援地方交付金」)に係る各県の医療機関に対する物価高騰対策支援(光熱費・食材費)事業化、(4)男女共同参画フォーラム、(5)病院における電子カルテ問題などについて協議が行われた。

2) 中国四国医師会連合常任委員会・連絡会

- (1) 令和7年6月22日、日医会館において香川県医師会の担当で開催され、清水会長、瀬川副会長が出席した。議事として、財務委員会及び議事運営委員会報告が行われた後、江澤・渡辺両日医常任理事より挨拶があった。詳細は、会報第841号に掲載した。
- (2) 令和7年9月27日、山口市において山口県医師会の担当で開催され、清水会長、瀬川・辻田両副会長が出席した。議事として、(1)中央情勢報告、(2)令和6年度事業・会計報告(岡山県医師会)があった後、(1)令和8年度国際会議へ派遣する若手医師の推薦、(2)次期当番県

(徳島県医師会)について協議が行われた。令和8年度中国四国医師会連合総会は、令和8年9月26日～27日の2日間に亘り鳴門市において開催される。詳細は、会報第845号に掲載した。

(3) 令和8年3月29日、日医会館において山口県医師会の担当で開催され、清水会長、瀬川副会長が出席した。議事として、日医財務委員会及び議事運営委員会について報告があった。

3) 中国四国医師会連合総会

令和7年9月28日、山口市において山口県医師会の担当で開催された。議事として、(1)連合委員長挨拶(加藤智栄山口県医師会長)、(2)分科会報告、(3)令和6年度事業・会計報告(岡山県医師会)、(4)次期開催県医師会挨拶(森俊明徳島県医師会副会長)が行われた。その後、産業医科大学医学部分子標的治療内科学特別講座特別教授 田中良哉先生より、「自己免疫疾患の治療の進歩：吉田松陰先生の教えと医学研究」と題して特別講演が行われた。

4) 中国四国医師会連合総会(分科会・特別講演)

令和7年9月27日、山口市において山口県医師会の担当で開催され、清水会長以下役員が出席した。詳細は、会報第845号に掲載した。

○第1分科会「医療政策(新たな地域医療構想)」

坂本日医常任理事をコメンテーターに迎え、清水会長、池田常任理事、來間・福嶋・野口各理事、服岡監事が出席した。「地域医療構想」及び「救急医療」について各県の回答をもとに議論された。

○第2分科会「地域医療・介護保険(地域包括ケア・在宅医療含む)」

佐原日医常任理事をコメンテーターに迎え、瀬川副会長、三上常任理事、山崎理事、尾崎監事が出席した。「在宅医療、介護連携」及び「かかりつけ医機能報告」について各県の回答をもとに議論された。

○第3分科会「勤務医」

今村日医常任理事をコメンテーターに迎え、秋藤常任理事、山田理事が出席した。「勤務医の医師会入会促進と継続参加の工夫」及び「勤務医の働き方改革」について各県の回答をもとに議論された。

○第4分科会「学校保健・母子保健」：松田常任理事

渡辺日医常任理事をコメンテーターに迎え、辻田副会長、岡田・松田両常任理事が出席した。「脊柱側弯症検診」及び「1か月健診と産後ケア」などについて各県の回答をもとに議論された。

<特別講演 I >

松本日医会長より、「最近の医療情勢とその課題」と題して特別講演が行われた。

5) 中国四国医師会連合事務局長会議

令和8年2月6日、山口市において開催され、岡本事務局長、田中貴係長、鈴木・森下両主事が出席した。各県医師会から提出された7議題などについて協議が行われた。本会としても他県の取り組みを参考にしながら業務を進めていく。

6) 関西広域連合協議会

令和7年9月23日、大阪市において開催された。主な議事として、今後の施策、事業の展開について協議が行われた。

3 地区医師会との連携強化

当面の諸問題に対応するため、各地区医師会と問題点の共通認識、解決、連携強化を図った。

4 情報ネットワークの推進

1) 日本医師会医療情報システム協議会

令和8年3月7～8日の両日にわたり、「医療DX新時代～現状の課題と未来の展望～」をメインテーマに日医会館においてハイブリッドで開催され、辻田副会長がWebで出席した。2日間で20講演、2つのパネルディスカッションと1つの総合討論が行われ、充実した内容であった。なお、福嶋理事は運営委員として、1日目の事前セッション「サイバー攻撃・ネット上の悪質な書き込み対策最新情報」の座長を務められた。詳細は、会報第850号に掲載した。

2) 都道府県医師会会員情報担当理事連絡協議会

令和8年3月16日、Webで開催され、山本次長、事務局担当者が出席した。議事として、(1)連絡協議会の趣旨と医師会会員情報システムMAMISの現状報告、(2)MAMIS導入事例2題、(3)MAMISの今後の予定などについて報告があった後、日医よりMAMIS機能に関する各医師会からの要望・意見等について、質疑応答形式で説明があった。詳細は、会報第850号に掲載した。

3) ネットワークの構築・統合

鳥取県医師会では、メールアドレスのハッキングによりメールサーバに被害が出たことから、それ以降、セキュリティポリシー等の策定、職員の研修会受講、OSプロテクト製品(AppGuard)の導入など人的・物理的安全管理措置を行い、セキュリティレベルを上げた。現在は、県医師会のファイルサーバを地区医師会も利用できるようネットワークを構築し、県医師会のサポートの下、統一されたセキュリティ基準で運用を進めている。

4) サイバー保険の加入

サイバー攻撃や情報漏えい、自社ネットワークの管理誤りなど企業のシステムに関連して発生するセキュリティ事故に起因した第三者への賠償責任や事故対応に要する企業の諸費用を包括的に補償する保険(損害保険ジャパン株式会社)に加入した。

5) 鳥取県サイバーセキュリティ対策ネットワーク総会

令和8年2月20日、県警本部においてハイブリッドで開催され、事務局が出席した。議事として、ネットワーク活動状況報告及びサイバー犯罪の現状説明があった後、講演「鳥取県のセキュリティ事情と今取り組むべき対策」が行われた。

6) テレビ会議システム・Web会議

鳥取県医師会館と各地区医師会館の4拠点を結ぶテレビ会議を鳥取県医師会並びに鳥取県健康対策協議会、鳥取県などの関係団体において27回開催した。多くの会議で利用され、医療従事者の負担軽減に繋がっている。また、会員の勤務先、自宅等から参加できるWeb会議を約23回開催した。その他に日本医師会、県等のWeb会議に約26回参加した。

14. その他に関する事項

1 行政との連携強化

1) 第77回鳥取県医療懇話会

令和8年1月8日、県医師会館において県福祉保健部、県子ども家庭部、病院局、医師会が参集し開催した。清水会長、中西県福祉保健部長の挨拶に続き、医師会が提出した10議題に対する県の回答、質疑応答および県からの報告を行った。詳細は、会報第848号に掲載した。

2) 鳥取県教育委員会との連絡協議会

令和7年10月23日、県医師会館において開催した。医師会からは清水会長以下地区医師会役員も含めた学校保健関係役員が、県教育委員会事務局からは足羽教育長ほか9名の関係者が出席した。県医師会から提出した15議題および県教育委員会事務局から提出された2議題について協議を行った。詳細は、会報第845号に掲載した。

3) 鳥取県学校結核対策会議

近年結核患者が発見されていないことを考慮し、平成24年度より定期的な開催とせず必要時に開催されている。今年度は、結核健康診断結果を各委員（本会からは笠木正明先生（西部医師会員））に送付された。令和7年度定期健康診断における結核健康診断結果は、精検対象者7名、異常なし7名であった。

4) 鳥取県がん教育推進協議会

- (1) 令和7年7月17日、県庁においてハイブリッドで開催され、尾崎監事が出席した。議事として、(1)令和6年度外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業、(2)令和6年度出張がん予防教室について報告された後、(1)令和7年度外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業の実施計画、(2)令和7年度出張がん予防教室の実施計画についての説明、(3)学校におけるがん教育の推進等について協議が行われた。
- (2) 令和8年2月5日、県庁においてハイブリッドで開催され、尾崎監事が出席した。議事として、(1)外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業、(2)出張がん予防教室についてそれぞれ令和7年度の実施報告と令和8年度の事業説明が行われた。その後、令和8年度の公開授業実施校について等、令和8年度の事業実施に向けた協議が行われた。

5) 令和7年度全国高校学校総合体育大会鳥取県実行委員会宿泊衛生・輸送警備専門委員会

令和7年6月3日付け、書面で開催された。議事として、競技種目別大会鳥取県版防災・危機管理マニュアル作成例について協議が行われ、承認された。

6) 鳥取県いじめ・不登校対策連絡協議会

令和7年10月29日、県教育センターにおいて開催され、鳥取市立病院診療局長 長石純一先生が出席した。議事として、(1)令和6年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果及び県独自調査、(2)令和6年度のいじめの重大事態、(3)「鳥取県いじめの防止等のための基本的な方針」の改訂について説明があった後、「児童生徒の問題行動（特に性に係る問題行動）の未然防止、適切な対応について、(1)今年度の状況説明、(2)グループ別協議、(3)協議のまとめが行われた。

7) 都道府県医師会「警察活動協力医会」連絡協議会・学術大会

令和8年2月21日、日医会館においてハイブリッドで開催され、永島常任理事が現地で出席した。当日は、(1)死因究明等に関する施策の推進状況等、(2)警察の死体取扱業務、(3)日医から(大規模災害時の検案体制等)について報告があった後、都道府県医師会からの提出議題に対する回答などが行われた。詳細は、会報第849号に掲載した。

8) 鳥取県死因究明等推進協議会

令和8年3月31日、Webで開催され、後藤東部医師会理事が出席した。主な議事として、(1)国における死因究明等施策の推進、(2)鳥取県の死体取扱等の現状と死因究明等に関する取組状況・今後、(3)鳥取県の死因究明等に関する課題への対応案～避けられる死の予防～などについて協議が行われた。

9) 第62回献血運動推進全国大会実行委員会

- (1) 令和7年8月25日、県庁において設立準備会を兼ねて開催され、会長代理として岡本事務局長が出席した。議事として、概要について報告があった後、(1)会則案、(2)大会実施要綱案、(3)大会スケジュール案、(4)令和7年度事業計画案及び収支予算等について審議が行われ、何れも原案どおり承認された。
- (2) 令和7年11月6日、県庁において設立総会を兼ねて開催され、清水会長が出席した。設立総会では、全国大会の概要報告の後、会則案について協議を行った。引き続き行われた実行委員会では、(1)大会実施要項、(2)大会スケジュール、(3)令和7年度事業計画及び収支予算について協議が行われ、いずれも議案どおり承認された。
- (3) 令和8年3月24日、県庁において開催され、会長代理として岡本事務局長が出席した。議事として、(1)令和7年度事業報告及び収支決算検査見込み、(2)令和8年度事業計画及び収支予算について審議が行われ、いずれも原案どおり承認された。大会は、令和8年7月10日、米子コンベンションセンターにおいて開催される。その他、各団体から献血推進に係る機運醸成の取組状況について報告があった。

10) 令和15年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会鳥取県準備委員会第2回常任委員会・第3回総会

令和7年6月20日、第2回常任委員会が書面で開催された。議事として、(1)専門委員会規程の一部改正案、(2)総務企画専門委員会について協議が行われ、議案決議書提出者38名のうちすべての提出が承認した。

令和7年6月20日、第3回総会が書面で開催された。議事として、(1)令和6年度事業報告及び収支決算、(2)会則の一部改正、(3)令和7年度事業計画及び収支決算について協議が行われ、議案決議書提出者208名のうちすべての提出が承認した。

11) 東京2025世界陸上ジャマイカ代表選手団事前キャンプ実行委員会

令和7年6月3日、とりぎん文化会館において開催され、清水会長の代理で岡本事務局長が出席した。平井知事の挨拶の後、議事として、(1)東京2025世界陸上ジャマイカ代表選手団事前キャンプ実行委員会の設立及び規約案、委員、役員の委嘱、(2)令和7年度事業計画・収支予算案等について協議が行われ、いずれも原案どおり承認された。

12) 鳥取県統計課からの調査協力依頼

県統計課より令和7年国勢調査について周知依頼がきたため、会報第842号及び843号に掲

載し会員へ周知した。

2 関係団体との連携強化

1) 鳥取県精神保健福祉協会理事会・総会

令和7年4月17日、白兔会館において開催された。議事として、(1)令和7年度事業計画及び歳入歳出予算案、(2)役員改選について審議が行われ、承認された。

2) 鳥取県基幹型認知症疾患医療センター連携協議会・研修会

令和7年9月11日、鳥大医学部附属病院においてハイブリッドで開催され、渡辺顧問が出席した。議事として、令和6年度各認知症疾患医療センター実績報告、事業への評価、県長寿社会課から報告等があった後、抗アミロイドβ抗体薬による治療について意見交換が行われた。

3) 鳥取県人権文化センター

<通常理事会>

(1) 令和7年5月12日、県立生涯学習センターにおいて開催され、岡本事務局長が出席した。議事として、(1)令和6年度事業報告及び決算、(2)令和7年度補正予算案、(3)役員選任案、(4)令和7年度定時総会の招集案について審議が行われ、承認された。

(2) 令和8年3月11日、県立生涯学習センターにおいて開催され、岡本事務局長が出席した。議事として、(1)令和7年度補正予算案、(2)令和8年度事業計画案及び当初予算案、(3)令和8年度資金調達及び設備投資の見込みについて審議が行われ、承認された。また、(1)会長、副会長、常務理事の職務執行状況、(2)アライ化に伴うセンター諸規程等の改定、(3)令和8年度採用職員(専任研究員)採用試験の結果、(4)次期役員改選時の対応状況について報告があった。

<臨時理事会>

令和7年10月8日、県立生涯学習センターにおいて開催され、岡本事務局長が出席した。議事として、令和8年度事業計画及び当初予算(要望案)について審議が行われ、承認された。また、公益社団法人制度改正による次期役員改選時の対応状況について報告があった。

<定時総会>

令和7年5月27日、県立生涯学習センターにおいて開催された。議事として、(1)令和6年度事業報告及び決算、(2)役員の選任案について審議が行われ、承認された。また、令和7年度事業計画及び予算について報告があった。

4) 日本医学検査学会

令和7年5月10日、大阪市において鳥取県臨床検査技師学会の担当により開催され、清水会長が来賓挨拶を述べた。事前参加申込者が3,000人を超えるなど、大変盛会であった。

5) ワールドマスターズゲームズ2027 関西鳥取県実行委員会総会の出席報告

令和7年5月12日、ホテルモナーク鳥取において開催され、清水会長が出席した。事務局説明の後、議事に移り、(1)実行委員会規約及び事務局規程の一部改正、(2)令和6年度事業報告及び収支決算、(3)令和7年度事業計画案及び収支予算案などについて協議が行われた。

6) 中島廣光先生鳥取大学長退任記念祝賀会

令和7年5月17日、ホテルニューオータニ鳥取において開催され、会長代理として瀬川副会長が出席した。多数の参加者で盛会であった。

7) 野坂美仁先生旭日双光章受章祝賀会

令和7年8月3日、ANAクラウンプラザホテル米子において本会と西部医師会との共催で開催した。来賓として、赤沢大臣、舞立参議院議員、平井知事（代理：遠藤政策統轄監）より祝辞があった。約120名の出席者で大変盛会であった。

3 四師会との連携

1) 鳥取県保健・医療・福祉関係者観桜会

令和7年4月10日、ホテルニューオータニ鳥取において県歯科医師会の担当により開催された。平井鳥取県知事の来賓挨拶、萬井鳥取県営病院事業管理者の乾杯の発声の後、歓談に移り大変盛会であった。参加人数は約130人。

2) 鳥取県看護協会通常総会

令和7年6月22日、県看護研修センターにおいて開催され、会長代理として岡田常任理事が祝辞を述べた。

3) 「鳥取県助産師出向支援事業」協議会

- (1) 令和7年5月29日、Webで開催され、小林 哲先生（西部医師会員）が出席した。議事として、(1)令和7年度「鳥取県助産師出向支援事業」協議会設置要綱と協会委員、(2)事業計画、(3)助産師出向のマッチング調整について協議が行われた。
- (2) 令和7年10月16日、Webで開催され、小林 哲先生が出席した。議事として、(1)令和7年度助産師出向支援コーディネーター活動報告、(2)令和8年度県政要望について報告があった後、今後の予定並びに令和8年度予算案などについて協議が行われた。
- (3) 令和8年3月19日、Webで開催され、小林 哲先生が出席した。主な議事として、(1)助産師出向支援コーディネーター活動報告、(2)「令和8年度に向けた鳥取県助産師出向支援事業に関する調査」結果報告、(3)令和8年度当初予算編成・政策策定に関する要望書の回答について報告があった後、令和7年度事業報告案並びに令和8年度事業計画・予算案などについて協議が行われた。

4) 鳥取県訪問看護支援センター事業運営協議会

令和8年3月12日、看護研修センターにおいて開催され、瀬川副会長が出席した。議事として、(1)県内訪問看護ステーションの状況、(2)令和7年度事業報告、(3)令和8年度事業計画案及び予算案、(4)令和8年度訪問看護職員確保関連予算案などについて報告、協議が行われた。

5) 鳥取県薬剤師会薬事情報センター運営委員会

令和7年10月23日、県薬剤師会西部支部において開催された。議事として、令和6年度事業実績及び収支予算について報告があった後、(1)令和7年度事業計画及び収支予算、(2)薬事情報センターの休止について協議が行われた。

6) 鳥取県歯科医師会新年祝賀会

令和8年1月17日、ホテルニューオータニ鳥取において開催され、清水会長が出席した。多数の参加者で盛会であった。

7) 鳥取県看護協会役員との連絡協議会

令和8年3月5日、県医師会館において開催し、清水会長以下、副会長および常任理事が出席した。本会および看護協会がそれぞれ事前に用意した議題について協議、意見交換を行った。詳細は、会報第849号に掲載した。

4 鳥取県医師会報の発行

1) 鳥取県医師会報の発行

鳥取県医師会報は、本会広報の主力をなすものであり、その充実を目途に広報活動の強化に努めた。編集方針は、情報の伝達、執行部の意見開陳のほか、エッセイ等発表の場としている。令和8年3月15日までの発行回数は、第838号から第849号の計12回であった。毎月の発行部数は約1,630部で、全会員のほか日医及び各都道府県医師会、関係機関等へ送付した。

2) 会報編集委員会

- (1) 令和7年7月17日、県医師会館においてハイブリッドで開催した。議事として、(1)県医師会報のペーパーレス化、(2)企業広告掲載、(3)県医師会報の掲載内容などについて協議を行った。詳細は、会報第842号に掲載した。
- (2) 令和7年10月16日、県医師会館においてハイブリッドで開催した。議事として、(1)県医師会報のペーパーレス化、(2)企業広告掲載、(3)ホームページ掲載における個人情報の取り扱いなどについて協議を行った。詳細は、会報第845号に掲載した。
- (3) 令和8年3月19日、「広報委員会」との合同で県医師会館においてハイブリッドで開催した。議事として、(1)会内広報の取組み（会報のペーパーレス化、会報の電子媒体での閲覧・配信方法、会報への企業広告掲載）、(2)対外広報の取組み（今後の本会広報の在り方）について協議を行った。令和8年度は、ペーパーレス化により削減となるコストを原資として、今度どのような電子媒体を導入し、情報発信の質を高めていくか等を検討する年とする。詳細は、会報第850号に掲載した。

3) 県医師会報（紙媒体）の送付

令和7年11月号から令和8年3月号に同封し実施した「ペーパーレス化に関するアンケート」に回答が確認できなかった会員には、医師会報（紙媒体）の送付を停止する予定とされていたが、これまでどおり紙媒体での送付を継続する。なお、現時点で本会の方針として完全なペーパーレス化を行う予定はない。

4) 鳥取県医師会報有料広告掲載規程の制定

令和7年9月18日開催した第5回理事会において、広告掲載基準、掲載料等を明記し新たに制定した規程について承認した。

5 広報の強化

1) 鳥取県医師会メーリングリストについて

本会では、地域における医師会情報・医療情報の共有と会員同士の親睦を目的に以下のメーリングリストを運営している。

1. 総合メーリングリスト（一般的な話題）
2. 連絡用メーリングリスト（医師会からの連絡など）

3. 緊急用メーリングリスト（医師会のサーバが使えない緊急時に用いるもの）
4. 学校医メーリングリスト（学校保健等の話題）

2) 鳥取県医師会ホームページ

平成9年11月に開設し、平成26年10月1日より内容を大幅にリニューアルし運営を行っている。当会からの情報を「鳥取県医師会のご紹介」「鳥取県民の皆様へ」「医師の皆様へ」に分け、「鳥取県民の皆様へ」では、公開健康講座などのイベント情報、医療情報、医療機関検索等を掲載し、「医師の皆様へ」では、鳥取県医師会報などの刊行物、医療保険情報、感染症情報、生涯教育関連情報等を掲載している。

3) 都道府県医師会広報担当理事連絡協議会

- (1) 令和7年4月17日、日医会館においてハイブリッドで開催され、辻田副会長がWebで出席した。議事として、(1)日本医師会の広報活動と今後の方向性について、(2)SNSの活用に関するアンケート結果について報告があった後、(3)都道府県医師会のSNSを活用した取り組み発表が行われた。詳細は、会報第839号に掲載した。
- (2) 令和7年10月2日、SNSの活用に関する勉強会としてWebで開催され、講演「SNSの活用に当たって」の後、質疑応答が行われた。詳細は、会報第844号に掲載した。

6 犯罪被害者支援対策

1) 「犯罪被害者支援カウンセリング制度」の協力

平成29年4月1日より、鳥取県警本部では犯罪被害者等の精神的被害の回復・軽減を図り制度の拡充を行うため、カウンセリング費用を公費で負担する制度を運用しており、本会として協力している。

2) 鳥取県犯罪被害者支援連絡協議会総会

令和7年6月25日、とりぎん文化会館において開催され、会長代理として岡本事務局長が出席した。議事として、(1)令和6年度事業報告及び収支決算報告、(2)定款の一部改正について審議が行われ、承認された。その後、令和7年度事業計画及び収支決算、令和6年度相談受理状況等について報告が行われた。

3) 被害者支援を考える講演会

令和7年7月25日、とりぎん文化会館において開催され、講演「あなたがある日突然犯罪被害者又は遺族になったら」が行われた。

4) 鳥取県被害者支援フォーラム

令和7年11月28日、エースパック未来中心において開催され、講演「理不尽な犯罪と家族の日々を振り返って今」などが行われた。

7 定款、諸規程の検討

1) 鳥取県医師会職員就業規程

令和8年3月19日開催の第12回理事会において、職員給与規程のうち「扶養手当」と「通勤手当」の改正について承認され、令和8年4月1日付けで施行している。

2) 鳥取県医師会表彰慶弔規程

日本医師会の表彰規程に倣い、令和7年度から長寿祝いは、白寿および米寿とした。

8 情報セキュリティ対策

本会における情報セキュリティポリシー等を策定し、令和2年7月1日付けで施行している。組織的・技術的安全管理措置として、職員の教育、ハンドブックの策定、AppGuardの導入、物理的安全管理措置として、会館内に防犯カメラを設置している。